# 会 告 目 次

研究発表会開催通知
第58回 グラフィクスと CAD 研究会 …… 2
第87回 計算機アーキテクチャ研究会…… 4
第56回 オペレーティング・システム研究会…… 5
第42回 数値解析研究会…… 6
第 8 回 プログラミング―言語・基礎・実践―研究会…… 7
第45回 全国大会予約案内……10
「DA シンポジウム '92」開催について ……12
情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集号への論文投稿のおすすめ……14
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」論文募集 ……16
プログラミング・シンポジウムについて……17
本会協賛等の行事案内……17
「1993 年情報学シンポジウム」論文募集……18
平成5年度研究会等の新設提案について……19
第2回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム開催について……19
平成4年電気・情報関連学会連合大会の開催案内……20
有料会告について……25
情報処理学会研究報告，全国大会講演論文集，シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱いについて……26
海外からの送金方法について……27
IFIP TC 7 第 16 回国際会議論文募集のお知らせ ……28
平成4年度の会費，論文誌・欧文誌購読費の納入について（お願い）……28
OOPSLA '92 ……29
支部だより……30
会 議 案 内 ……33
教 官 募 集 ……34
雑　　報……37
平成4年度役員名簿……39
情報処理学会事務局組織図……40

# 研究発表会開催通知

（平成4年7月15日～8月31日）

| 研究会 | 日 | 時 | 会場 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 自然言語処理 | 7月17日(金) | 9：40～16：45 | 東工大 | 前号参照 |
| 設計自動化 | 7月17日(金) | 13：00～17：00 | 機械振興会館 | 同上 |
| コンピュータと教育 | 7月17日(金) | 14：00～17：00 | 電通大 | 同上 |
| アルゴリズム | 7月17日(金)<br>7月18日(土) | 13：30～17：30<br>10：00～15：30 | 北海道教育大 | 同上 |
| ソフトウェア工学 | 7月20日(月)<br>7月21日(火) | 9：20～17：20<br>9：00～16：40 | 中国電力(広島) | 同上 |
| 情報システム | 7月21日(火) | 13：00～17：00 | 機械振興会館 | 同上 |
| データベースシステム | 7月22日(水)<br>7月23日(木)<br>7月24日(金) | 13：00～18：00<br>9：00～18：30<br>9：00～15：00 | 札幌ガーデンパレス | 同上 |
| グラフィクスとCAD | 7月24日(金) | 10：30～17：00 | 機械振興会館 | 同上 |
| グラフィクスとCAD | 8月10日(月)<br>8月11日(火) | 13：00～21：00<br>9：30～16：30 | 浜名荘（浜松） | 下記参照 |
| *計算機アーキテクチャ | 8月19日(水)<br>8月20日(木) | 8：45～17：45<br>9：15～10：15 | シーサイドホテル<br>フェニックス(宮崎) | 同上 |
| *オペレーティング・システム | 8月19日(水) | 8：45～17：45 | 同上 | 同上 |
| *数値解析 | 8月20日(月) | 9：15～12：30 | 同上 | 同上 |
| *プログラミング<br>—言語・基礎・実践— | 8月20日(木)<br>8月21日(金) | 10：30～17：45<br>8：45～18：15 | 同上 | 同上 |

* 研究会連続・同時開催

## ◆第58回 グラフィクスとCAD研究会

（発表件数：20件）

（主査：西原清一，幹事：宇野 栄，大野義夫，間瀬健二）

**日 時** 平成4年8月10日（月）13：00～21：00
8月11日（火） 9：30～16：30

**会 場** 浜名湖保養所 浜名荘

〔静岡県浜名郡舞阪町弁天島乙女園 994-1，JR（新幹線）：浜松または豊橋下車，東海道線：弁天島下車，徒歩20分，あるいはタクシー5分．Tel. 05359（2）0668〕

**議 題 第6回 グラフィクスとCAD集中研究集会「美術とデザイン」**

グラフィクスとCAD研究会では，研究者・技術者・芸術家相互が集中的な討議と情報交換を行い，作品を発表する場として，標記集中研究集会を開催いたします．この集会では，原則として参加者全員が発表するとともに，浜名湖に宿泊して深い討論を行い，また参加者相互の親睦を図り，さらには，そのテーマについて見通しを得ることをねらっています．

**8月10日（月）**

（1） 開催の挨拶 西原清一（筑波大）

**●メディアのひろがり** **司会**：横井茂樹（名大）

（2） CGと造形 田中四郎（拓殖大）

〔概要〕 マシン作りと手づくりのはざまで「造形」の体系化への手掛りを求めて．

(3) 楽譜の映像化について　出原栄一（大阪芸術大）
〔概要〕 映像の“空間・時間”情報を“4次元時間”情報として記述する新理論により，楽譜を映像化する試み．
(4) 脳という自己の再生　柴山信弘（4D）
〔概要〕 脳をメディアとした脳波音楽と CG によるアート．
(5) 第3の皮膚論　幸村真佐男（東北芸術工科大）
〔概要〕 メディア・スーツや VR ゴーグルに代表される電子化された装置と人間の身体性について論ずる．

**●幾何学と美〔その1〕**　**司会**：石原　亘（京都芸術短大）
(6) コンピュータや数学の嫌いな人も夢中になれる入門グラフィックス
大山順彦（境界領域技術コンサルタント）
〔概要〕 数行のプログラム中の定数や式を変えるだけで，続々と美の創造が始まり，関数の意味も理解し始める．
(7) パソコンによる三次元自己相似形図形処理に関する一試み　森　久紘（滋賀女子短大）
〔概要〕 三次元相対座標とリカージョンを用いて図形生成を試みた．無限の繰り返しに不思議な美を感じる．
(8) 剰余パターンの模様デザインへの応用　坂元宗和，高木幹雄（東大）
〔概要〕 2変数関数の剰余類が作るパターンの類推困難性を創造的分野に応用する際の理論と制作とその評価

**●幾何学と美〔その2〕**　**司会**：幸村真佐男（東北芸術工科大）
(9) 見えないものが見えてくる　水野信久
〔概要〕 素数，パスカルの三角形，陰関数表示曲線，カオス，フラクタル等の例により，見える数理を目指す．
(10) CG による練込み文様の検討　佐々木尚孝（岐阜県工技センター）
〔概要〕 陶芸のタタラ成形による練込み技法をシミュレーションし，新しい文様や製品づくりに役立てる．
(11) 日本のコンピュータアニメ黎明期の一素描　西原清一（筑波大）
〔概要〕 日本のコンピュータアニメの黎明期の印象をフィルムと共に発表する．

**8月11日（火）**　**—9：30〜11：30—**

**●ファインアート**　**司会**：田中四郎（拓殖大）
(12) ディジタルフォトの可能性　松本明彦，川口吾妻
〔概要〕 フォトグラファと CG デザイナのコラボレーションによる新しい写真表現を紹介する．
(13) 美術ディジタルシステム　森田　彗（画家）
〔概要〕 ペイントシステムから大手パソコン通信上のアートスペースまで，美術からの応用例を説明する．
(14) コンピュータを用いた絵画生成　佐々木睦子（理研）
〔概要〕 数学関数を用いて全体的調和と変化に富む絵を生成するための手法とその使用経験について述べる．
(15) 芸術とテクノロジ　土佐尚子（武蔵野美大）
〔概要〕 芸術とテクノロジの関係性について，自身の作品を紹介して，その制作過程と思考，問題点を論じる．

**—12：30〜16：30—**

**●デザイン・芸術のためのツール〔その1〕**　**司会**：西原清一（筑波大）
(16) レリーフ作成支援システムの試作について　吉田英正，大野義夫（慶大）
〔概要〕 ペイントシステムと同様の使い勝手で立体を作成するシステムと，レリーフ作成への応用を述べる．
(17) 凹版印刷による肖像画作成支援システム　坊　晃利（YHP），大野義夫（慶大）
〔概要〕 従来，完全な手作業として行われてきた凹版印刷の原画作成を支援するシステムを提案する．
(18) 高品位白黒画像によるレンダリング手法　神原　章，近藤邦雄，佐藤　尚，島田静雄（埼玉大）
〔概要〕 3次元物体の形状・質感を表現するための手法と Post Script 出力による作画評価について述べる．

**●デザイン・芸術のためのツール〔その2〕**　**司会**：近藤邦雄（埼玉大）
(19) 3-Dワークステーションを活用したデザイン開発手法　岩崎一英（未来技術研）
〔概要〕 デザインの初期開発からアウトプットまでのコンピュータ・オリエンテッドな開発手法の実際．
(20) 仮想空間における折り紙の対話型操作の実現　宮崎慎也，安田孝美，横井茂樹，鳥脇純一郎（名大）
〔概要〕 CG によるビジュアル環境において実物に近い感覚で紙の折り返し，折り込みなどの操作を可能にした．
(21) 芸術学部における共通専門科目としてのコンピュータ教育　石原　亘（京都芸術短大）
〔概要〕 一般教養でもなく特殊な専門教育でもなく，芸術活動の基礎としての情報処理教育を目指す試みの報告．

**●総合討論**　**司会**：田中四郎（拓殖大）

＊この集中研究集会に参加ご希望の方は，下記までお問合せください（定員人数25名予定）．
大野義夫（慶大）Tel. & FAX 045 (563) 3925　田中四郎（拓殖大）Tel. 0426 (65) 1441 内 5312 FAX 0426 (64) 2743

## ◆第87回 計算機アーキテクチャ研究会

（発表件数：17件）

（主査：富田眞治，幹事：後藤厚宏，村上和彰，矢野陽一）

**1992年並列／分散／協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ（SWoPP 日向灘 '92）**

**—研究会連続・同時開催—**

**日　時**　平成4年8月19日（水）8：45～17：45

8月20日（木）9：15～10：15

**会　場**　シーサイドホテルフェニックス

〔宮崎市大塩路浜 3083　宮崎フェニックス・グリーンランド，JR：宮崎下車，車で20分，または宮崎空港から車で30分．Tel. 0985 (39) 1111〕

**議　題**　特集：並列／分散／協調システム・アーキテクチャ　—実例における定量的性能評価—

**8月19日（水）**　—8：45～10：15—

**●セッション　ARC-1：新マシン**

（1）分散共有メモリ型マルチプロセッサ「ASURA」の階層性とその評価

城　和貴，柳原　守，デビッド・フレイザー，田中高士，新田博之（クボタ），森眞一郎，齋藤秀樹，富田眞治（京大）

〔概要〕分散共有メモリ型マルチプロセッサ「ASURA」の階層モデルとその性能評価について述べる．

（2）イベント対応型キャッシュ・コヒーレンス制御方式とそのバリア同期への応用

齋藤秀樹，森眞一郎（京大），城　和貴，デビッド・フレイザー，田中高士（クボタ），富田眞治（京大）

〔概要〕イベントに対応した一貫性制御を行うキャッシュとそれを利用したバリア同期の原理と動作について．

（3）並列マシン Cenju 2 のアーキテクチャ　松下　智，山内　宗，中田登志之，小池誠彦（日電）

〔概要〕R3000 を要素プロセッサに多段結合網で結合した並列マシンを開発した．その設計思想を解説する．

**—10：30～12：30—**

**●セッション　ARC-2：相互結合網の定量的性能評価**

（4）超並列計算機のネットワークの実現可能性と性能評価

斉藤哲也，森本貴之，位守弘充，朴　泰祐，中村　宏，中澤喜三郎（筑波大）

〔概要〕数種のPU間接続ネットワークの実現可能性と転送能力を基本的な転送パターンを元に定量的に評価した．

（5）トーラス・リング・バス階層型アーキテクチャ　伊藤　拓，小畑正貴，宮垣嘉也（岡山理科大）

〔概要〕数万台規模の実装を想定した階層型アーキテクチャを提案し基本的な性能の検討を行う．

（6）グループ共有メモリを持った柔軟な格子結合型マルチマイクロプロセッサ（FMM）

塚原宏亨，岩根雅彦（九工大），浦崎直彦（東芝）

〔概要〕FMM のシステム構成およびグループ共有メモリの性能予測．

（7）信号処理におけるバス結合型と多段結合網型の並列計算機の性能比較

水野政治，宮田裕行，磯西徹明，菅　隆志（三菱電機）

〔概要〕信号処理を並列化し，アーキテクチャの異なる2台の並列計算機の特性を比較した．

**—13：30～15：30—**

**●セッション　ARC-3：通信方式の定量的性能評価**

（8）ネットワークを用いた高速スヌープ機構　村田浩樹，清水茂則（日本IBM）

〔概要〕データ転送にマルチプル・データ・パスを用いることでデータ・バンド幅を増大したスヌープ方式．

（9）計算機ネットワークの適応経路制御方式 P-ROUTING

大庭信之（日本 IBM），小松広明，中村維男（東北大）

〔概要〕新しいルーティング方式と，故障が発生したときの対処法を述べる．

(10) メッセージレベルシミュレータ　堀江健志（富士通研）

(概要) メッセージパッシング型並列計算機のシミュレータとそれを用いた解析結果について報告する．

(11) 階層構造をもつ分散メモリ型超並列計算機 MANDALA の設計

加納卓也，広田勝久，藤本茂訓，Andrew Flavell，高橋義造（徳島大）

〔概要〕シミュレータの開発と適用により，ルータ設計と試作機開発を通じて MANDALA を設計した．

**—15：45～17：45—**

**●セッション　ARC-4：実マシンの定量的性能評価**

(12) AP 1000 の性能評価　清水俊幸（富士通研）

〔概要〕メッセージパッシング型並列計算機 AP 1000 の性能を評価／検討する．

(13) Normal Hypercube Algorithm Performance on the AP 1000　I. Chuang（富士通研）

〔概要〕 We show that the simulation of a $N \times N$ processor Normal Hypercube Algorithm on a $N \times N$ processor Fujitsu AP 1000 torus may be performed in $2N$ cycles.

(14) Fortran プログラムの階層的マクロデータフロー処理手法

岡本雅巳，合田憲人，尾形　航，吉田明正（早大），本多弘樹（山梨大），笠原博徳（早大）

〔概要〕 階層的マクロデータフロー処理手法を提案すると共に，OSCAR 上での評価結果を述べる．

(15) 科学技術計算用データ駆動計算機 SIGMA-1 における最適化技法の評価

平木　敬（東大／電総研），島田俊夫，関口智嗣（電総研）

〔概要〕 大規模命令レベルデータ駆動計算機SIGMA-1において各種のコード最適化手法を適用し，効果を評価．

**8月20日（木）**

**●セッション　ARC-5：DB マシン／SIMD マシンの定量的性能評価**

(16) スーパデータベースコンピュータ（SDC）のパケット平坦化ネットワークにおける縮退動作支援アルゴリズムとその評価．

田村孝之，中村　稔，喜連川優，高木幹雄（東大）

〔概要〕 SDC のデータネットワークにおいて，モジュール数が2の冪乗でないときの負荷分散の手法について．

(17) SIMD 型超並列計算機 SM-1（仮称）の概要とその性能　松田元彦（住友金属），湯浅太一（豊橋技科大）

〔概要〕 SIMD 型で 1024 PE 構成の並列計算機のアーキテクチャ概要とその簡単な性能評価を報告する．

※懇親会：20日（木）の研究会終了後，SWoPP 日向灘 '92 全体の懇親会を予定しています．奮ってご参加ください．
※IEEE Computer Society Tokyo Chapter，電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会）協賛
※SWoPP 日向灘 '92 への参加は通常の研究会と同様ですが，準備の都合上，参加ご希望の方は下記までお申し出ください．
**申込先** JTB 団体旅行九州支店 SWoPP 日向灘 '92 デスク　担当：沢田，松本(祐)，佐藤
812 福岡市博多区博多駅前 2-9-28　Tel. 092 (451) 6735　FAX 092 (431) 1272
**問合せ先** 福田　晃（九大）Tel. 092 (641) 1101 (内 5404)　FAX 092 (632) 5204　e-mail：swopp 92-secretary@etl. go. jp
※SWoPP 日向灘 '92 の一環として，電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会：19日～21日，ウェハースケール集積システム研究会：20日），電子情報通信学会（人工知能と知識処理研究会）および人工知能学会（知識ベースシステム研究会）の合同研究会（20日～21日）が同会場にて開催されますのであわせてご参加ください．

## ◆第56回　オペレーティング・システム研究会

（発表件数：15件）

（主査：鈴木則久，幹事：清木　康，清水謙多郎，萩野達也）

**1992年並列／分散／協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ（SWoPP 日向灘 '92）**

**—研究会連続・同時開催—**

**日　時**　平成4年8月19日（水）8：45～17：45

**会　場**　シーサイドホテルフェニックス（所在地は前記参照）

**議　題**　**特集：並列／分散／協調オペレーティング・システム**

**—8：45～10：15—**

**●セッション　OS-1：並列／分散システム**

（1） 分散システムにおける送信データ予約方式による転送方法　山根義孝（四国化工機），高橋義造（徳島大）

〔概要〕 必要なデータを予め予約し中継 PE を確定した後，放送によりデータ転送を行う通信方式について．

（2） 分散トランザクションシステム IXI におけるトランザクション管理方式

奥村康男，大久保英嗣，大野　豊（立命館大），白川洋充（近畿大）

〔概要〕 IXI における入れ子トランザクションと弱い一貫性の管理方式について述べる．

（3） 演算時間および通信量評価を可能とする並列計算機シミュレータの構築　村田英明，浜村英彦（三菱重工）

〔概要〕 並列計算機の性能予測および並列処理状態の解析を目的とした並列計算機シミュレータについて報告．

**—10：30～12：30—**

**●セッション　OS-2：オペレーティング・システム構成法**

（4） 並列オペレーティング・システム "K1" —メッセージプール機構—

宮崎輝樹，桑山雅行，最所圭三，福田　晃（九大）

〔概要〕 共有メモリ上のメッセージプールを用いて不特定のプロセッサに負荷を分散する方法について述べる．

（5） 64ビットアドレス空間を用いた協調的システムの構築　猪原茂和，加藤和彦，益田隆司（東大）

〔概要〕 64ビット空間を用いて情報の共有を行い，プロセス間の効率的な協調を支援する OS について．

（6） 永続オブジェクトによるオペレーティングシステムの構成

平瀬吉也，大久保英嗣，大野　豊（立命館大），白川洋充（近畿大）

〔概要〕 永続オブジェクトを用いたオペレーティングシステムの構成について述べる．

（7） 並列論理型言語 KL1 によるオペレーティングシステム PIMOS の実現

藤瀬哲朗（三菱総研），屋代　寛，近山　隆（ICOT）

〔概要〕 並列推論マシン上で稼働中の PIMOS の実現方式，及び記述言語 KL1 との関係について述べる．

—13：30～15：30—

●セッション　OS-3：プロセス管理

（8）　多数プロセス生成の高速化手法　　横山和俊，谷口秀夫（NTTデータ）

〔概要〕 同じプログラムによる多数プロセスの生成処理を並列度の変化に合せ高速に行う手法について述べる．

（9）　オブジェクト指向オペレーティングシステム Ozone のプロセス管理部の実現

伊豆田和也，大久保英嗣，大野　豊（立命館大），白川洋充（近畿大）

〔概要〕 Ozone のプロセス管理部の Mach 上での実現方式について述べる．

(10)　A Two-level Scheduling Scheme for Shared Memory Multiprocessors

Joe A. Uemura，菅　隆志（三菱電機）

〔概要〕 対称型並列 OS の下でユーザプログラムを効率良く並列処理する2階層スケジューリング方式を提案．

(11)　Datarol アーキテクチャにおけるスレッド実行機構に関する考察

川野哲生，星出高秀，日下部茂，谷口倫一郎，雨宮真人（九大）

〔概要〕 Datarol アーキテクチャにおけるスレッド実行の効率化に関する検討結果について報告する．

—15：45～17：45—

●セッション　OS-4：評価およびハードウェア・サポート

(12)　MP UNIX におけるデバイスアクセス手法の比較　　河内谷清久仁，白鳥敏幸，山崎秘砂（日本IBM）

〔概要〕 TCMP マシン上の UNIX におけるデバイスアクセスの方法について比較し，評価・検討を行う．

(13)　実時間用相互結合網の評価　　戸田賢二，西田健次，内堀義信，島田俊夫（電総研）

〔概要〕 いくつかの相互結合網について，並列実時間処理システム用として相応しいかどうかを評価する．

(14)　協調タスクバックアップ方式のリアルタイム性能評価　　神余浩夫（三菱電機）

〔概要〕 情報制御システムの耐故障方式について強リアルタイム性を保証する条件とその性能を評価する．

(15)　プロセス間通信をサポートするオン・メモリ FIFO 機構　　五島正裕，森慎一郎，富田眞治（京大）

〔概要〕 共有メモリ上に設けた FIFO によりプロセス間の同期と通信を高速に実現する機構について．

＊参加申込等は前記計算機アーキテクチャ研究会欄をご参照ください．

## ◆第42回　数値解析研究会

（発表件数：6件）

（主査：福井義成，幹事：土谷　隆，長嶋雲兵，吉原郁夫）

**1992年並列／分散／協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ（SWoPP 日向灘 '92）**

**—研究会連続・同時開催—**

**日　時**　平成4年8月20日（木）9：15～12：30

**会　場**　シーサイドホテルフェニックス（所在地は前記参照）

**議　題**　**特集：並列／分散／協調処理とスーパコンピューティング**

—9：15～10：15—

●セッション　NA-1：数値的アルゴリズム

（1）　前処理つきガウスーザイデル反復法によるジョゼフソン論理ゲートの回路シミュレーション

須田礼仁，小柳義夫（東大）

〔概要〕 ジョゼフソン回路の過渡解析において前処理つきガウスーザイデル反復法が有効であることを報告する．

（2）　マルチグリッド前処理付共役勾配法　　建部修見，小柳義夫（東大）

〔概要〕 共役勾配法の前処理にマルチグリッド法を使うことの正当性を示し，数値実験により有効性を示す．

—10：30～12：30—

●セッション　NA-2：並列化技法と評価

（3）　AP1000 におけるN次元通信ライブラリの試作，検討　柴田一哉（富士通青森システムエンジニアリング）

〔概要〕 富士通 AP1000 上で動作する，N次元領域分割用ライブラリを試作し，アプリケーションに適用した．

（4）　電力潮流計算の並列処理における負荷の最適化　　堀川和雄，森慎一郎，富田眞治（京大）

〔概要〕 電力系統の潮流計算の並列化での，各プロセッサの負荷の最大値を最小にする方法を示し，評価する．

（5）　プロセッサ競合方式による並列配線処理　—ランダム引き剝がし法—

佐野雅彦，岡　圭司，高橋義造（徳島大）

〔概要〕 ランダム引き剝がし法を用いた並列配線アルゴリズムによる2層プリント板配線問題の自動配線処理

（6）　輪郭特徴に基づく手書き漢字認識システムの SIMD 計算機による実現　佐々木一陽，高橋義造（徳島大）

〔概要〕 並列に抽出した輪郭特徴を DP マッチングをベースに並列化したマッチング法で認識する．

※参加申込等は前記計算機アーキテクチャ研究会欄をご参照ください．

## ◆第8回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

（発表件数：28件）

（主査：安村通晃，幹事：萩谷昌己，久世和資，松岡 聡）

**1992年並列／分散／協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ（SWoPP 日向灘 '92）**

**—研究会連続・同時開催—**

**日 時** 平成4年8月20日（木）10：30〜17：45
8月21日（金） 8：45〜18：15

**会 場** シーサイドホテルフェニックス（所在地は前記参照）

**議 題** 特集：並列／分散／協調プログラミング—言語・基礎・実践—

**8月20日（木）** —10：30〜12：30—

**●セッション PRG-1：基礎理論**

（1） Deriving denotational models for nonuniform concurrency from structured operational semantics
堀田英一（NTT）

〔概要〕 状態依存で遷移するような非一様な言語に対して，遷移規則から意味モデルを導出する方法を提案．

（2） 通信サービス記述のための知識と動作に基づく様相論理 SSL 楢崎修二，堀田英一（NTT）

〔概要〕 プロセス論理と共通知識論理を融合した様相論理 SSL を提案し，通信サービスの検証・分類を行う．

（3） Dependence-Based Representations of Concurrent programs 程 京徳（九大）

〔概要〕 Occam 2 プログラムを事例としたプログラム従属性に基づく並行型プログラムの表現法の提案と応用．

（4） リアクティブ時相論理 内平直志，本位田真一（JIPDEC）

〔概要〕 並行／リアクティブシステムの特徴を記述するための様相論理（リアクティブ時相論理）を提案する．

—13：30〜15：30—

**●セッション PRG-2：分散・協調・マルチエージェント言語（1）**

（5） マルチエージェントシステムのための階層型リアクティブ・プランニング 風間一洋，尾内理紀夫（NTT）

〔概要〕 マルチエージェントを問題対応に階層化してリアクティブ・プランニングを行う手法を述べる．

（6） マルチオブジェクトのトポロジカルな構造に基づく出現的計算 高田敏弘（NTT）

〔概要〕 マルチオブジェクトのトポロジカルな構造の操作から生まれる出現的計算について述べる．

（7） 発生型ソフトウェアのプロセス代数による記述について 大林正晴，本位田真一（JIPDEC）

〔概要〕 協調エージェントモデルのための「発生型ソフトウェア」の概念について，その枠組と例を報告する．

（8） エージェント間の共有知識を実現した Prolog に基づく協調処理言語
川村尚生，斎藤善徳，金田悠紀夫（神戸大）

〔概要〕 エージェントの属する場を知識共有機構とする協調処理モデルおよびプログラミング言語の提案．

—15：45〜17：45—

**●セッション PRG-3：分散・協調・マルチエージェント言語（2）**

（9） 協調計算モデル Cellula の超並列処理系の構想 吉田紀彦（九大）

〔概要〕 超並列計算機 AP-1000 上での協調計算モデル Cellula の処理系について構想を述べる．

(10) 分散 Linda におけるフォールトトレラント性 野里貴仁，杉本 明（三菱電機）

〔概要〕 ネットワーク上のフォールトトレラントな仮想共有メモリを用いた Linda について述べる．

(11) 分散型関数型言語 Cmex の構成とその応用について
廣田周吾，大久保英嗣，大野 豊（立命館大），白川洋充（近畿大）

〔概要〕 分散型関数型言語 Cmex の構成について述べ，それを並行B木探索に応用した例を示す．

(12) ネットワーク並列アプリケーションのためのプログラミング支援
湯浅 敬，Pradeep K. Sinha（松下電器）

〔概要〕 ネットワークアプリケーション開発のための，オブジェクト指向モデルと翻訳型言語の設計と実装．

**8月21日（金）** —8：45〜10：15—

**●セッション PRG-4：並列論理型言語**

(13) 並行論理型言語における観測プログラムの合成 堀内謙二（ICOT）

〔概要〕 並行論理型プログラムのゴールを観測，制御するプログラムの合成方法について考察する．

(14) 高並列言語 fleng における型システムの導入 中田秀基，田中英彦（東大）

〔概要〕 コミッティッドチョイス型言語 fleng に型システムを導入した言語の仕様と実装に関して述べる．

(15) Portable な KL1 処理系の構想 関田大吾（三菱総研），近山 隆（ICOT）

〔概要〕 並列論理型言語 KL1 をCにコンパイルして実行する，汎用計算機用の処理系の構想を述べる．

—10：30～12：30—

●セッション PRG-5：プログラム環境・デバッガ

(16) 並列論理型言語 KL1 のデバッガ　中尾浩一（応用技術），近山 隆，和田久美子，清原良三（ICOT）

〔概要〕 KL1 デバッガの開発および使用経験をもとに KL1 のデバッキング環境についての考察を述べる．

(17) 並列論理型言語 Fleng のパフォーマンス・デバッキング —Toward a Programming Environment for Efficient Highly Parallel Programs　舘村純一，白木長武，小池汎平，田中英彦（東大）

〔概要〕 高パフォーマンスな大規模並列プログラム開発のためのプログラミング環境の構築について述べる．

(18) 高並列プログラムのパフォーマンス・デバッキング・ツール paf

白木長武，舘村純一，小池汎平，田中英彦（東大）

〔概要〕 高並列・細粒度プログラムのパフォーマンス・デバッキング・ツールの設計と実装について述べる．

(19) 並列オブジェクト指向言語 A-NETL のデバッキングシステム

片平 透，吉永 努，馬場敬信（宇都宮大）

〔概要〕 並列プログラムをイベントベース方式とリプレイを組み合わせてデバッグする手法について報告する．

—13：30～15：30—

●セッション PRG-6：実装技術・応用

(20) Scheme 言語におけるプロセス管理　戸川敦之，大久保英嗣，大野 豊（立命館大），白川洋充（近畿大）

〔概要〕 Scheme 言語にプロセス管理機能を追加する方法およびその実現について述べる．

(21) 機種に依存しない利用者 threads ライブラリ　多田好克（電通大）

〔概要〕 移植性のある利用者 threads ライブラリ作成上の問題点を議論し，現在の実現法を紹介する．

(22) 並列計算機による生物集団の行動シミュレーション　矢戸信次，梅尾博司（大阪電通大）

〔概要〕 64台のトランスピュータ並列計算機上での鳥の集団飛行，多足生物の歩行パターンのシミュレーション．

(23) 並列計算機上での並列 DCT 変換アルゴリズムの性能評価　安原浩春，梅尾博司（大阪電通大）

〔概要〕 並列 DCT アルゴリズムを64台のトランスピュータ並列計算機上に実装しその性能評価を行う．

—15：45～18：15—

●セッション PRG-7：スケジューリング・負荷分散・資源割付

(24) Iterative-Deepening A* アルゴリズムのスタック分割動的負荷分散方式による並列化と並列マシン PIM/m 上の性能評価　和田正寛（ICOT）

〔概要〕 IDA* アルゴリズムとスタック分割的負荷分散方式を結合し，15パズル問題で性能評価を行った．

(25) 並列オブジェクト指向トータルアーキテクチャ A-NET におけるオブジェクトアロケーション

郡司明人，馬場敬信，吉永 努（宇都宮大）

〔概要〕 通信の局所性を達成するオブジェクト割り付けの最適化手法とその実験結果について報告する．

(26) 拡張有限状態機械モデルを用いた分散システムの全体記述から各ノードの動作記述の自動生成

岡野浩三，今城広志，東野輝夫，谷口健一（阪大）

〔概要〕 EFSM で書かれた全体仕様を $n$ 個のノードで実現する際の各ノードの動作仕様を自動生成する方法．

(27) OR 並列 Prolog におけるプライオリティ制御機構とその応用

松田秀雄，鈴鹿重雄，金田悠起夫（神戸大）

〔概要〕 OR 並列でプライオリティ制御により最適解を高速に求める手法を提案し遺伝子情報処理へ応用した．

(28) タスク多重割当法による処理時間改善の評価　小林真也，畑中耕治（金沢大）

〔概要〕 タスク発生条件の排反性を利用するタスク多重割当法による処理時間改善の定量的評価を行う．

*参加申込等は前記計算機アーキテクチャ研究会欄をご参照ください．

◆ プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

第9回研究会の発表を下記のとおり募集いたします．奮ってご応募ください．

**日　程**　平成4年10月30日（金）

**会　場**　機械振興会館

**議　題**　**小特集：90年代のコンパイラと言語実装技術**

並列計算機などの新しいアーキテクチャからの要請と関数プログラミングなどの新しいセマンティックスからの要請に応えるべき90年代のコンパイラと言語実装技術に関する発表を募集します．

また，一般発表も奮って応募ください．

**発表申込締切**　**平成4年7月31日（金）**

**連絡先**　萩谷昌己　東京大学　理学部　情報科学科
Tel. 03 (3812) 2111 内 4113　FAX 03 (3818) 1073　e-mail : hagiya@is.s.u-tokyo.ac.jp

**◆計算機アーキテクチャ研究会**

第88回研究会を下記のとおり開催いたします．多数の発表申込をお待ちしてます．

**日　程**　平成4年10月22日（木）・23日（金）
**会　場**　九州大学
**議　題**　**特集：マイクロプロセッサ，DSP，およびVLSIコンピュータ**
**発表申込締切**　**平成4年8月1日（土）**
**発表申込方法**　研究発表申込書の様式で，発表題目，発表者名，略称所属，概要（46字以内），発表申込者連絡先（住所，氏名，Tel，FAX，e-mail）をご記入のうえ，下記宛，電子メールまたはFAXで直接お申し込みください．なお，できるだけ電子メールでお願いいたします．
**申込先**　矢野陽一（日電）　e-mail : architects@is.kyushu-u.ac.jp　FAX 044 (435) 1885
＊電子情報通信学会（集積回路研究会，コンピュータシステム研究会）と共催

**◆ヒューマンインタフェース研究会**
**◆情報メディア研究会**
**◆音楽情報科学研究グループ**

上記研究会と研究グループの合同研究会の発表を下記のとおり募集します．奮ってご応募ください．

**日　程**　平成4年11月11日（水）・12日（木）
**会　場**　国立民族学博物館（大阪）（予定）
**議　題**　**小特集：メディアとインタフェース，および一般**
メディアを介しての，情報伝達・取得では，各メディアの有するヒューマンインタフェース特性の解明が重要な技術課題となります．本特集では，画像や音楽など広範囲な話題についての発表をお願いします．
**発表申込締切**　**平成4年8月28日（金）**

**◆ソフトウェア工学研究会**
**◆仕様記述の効率的適用と評価研究グループ**

**研究発表会発表論文募集案内**

「仕様記述の効率的適用と評価」研究グループは，1990年7月に発足し，仕様記述手法／言語を，実際的な問題に適用して，それぞれの得失を評価・議論してきました．通信システム，計測制御システム，プラントシステム，トランザクションシステム，並行システム等のソフトウェア等を例に挙げて，大学・研究所・企業の現場の組織が参加し，事例研究と評価を行ってきました．

2年間の時限終了に当たり，本研究グループの成果の発表を行うと共に，本研究グループのメンバ以外の方も発表参加していただく「仕様記述の特集研究会」を開催することになりました．この研究会は，ソフトウェア工学研究会のご好意により，ソフトウェア工学研究会の通常の研究会活動の一環として行われます．

発表時間を長めにとり，関連研究を数件続けた後に，その関連話題に密着した内容で，パネルの形式ではなく，1時間ほどの討論を全員で行う形態を考えております．発表および討論に多くの方々に参加していただきたいと存じます．また，チュートリアル的な発表も歓迎いたします．

**日　程**　平成4年12月2日（水）～4日（金）
**会　場**　電子技術総合研究所
**議　題**　**特集：仕様記述**
**トピックス**　仕様記述手法，仕様記述言語，CASE等，仕様化に関わる方法や技術全般
**発表申込締切**　**平成4年9月7日（月）**（10月中旬に学会より原稿依頼）
**原稿締切**　**平成4年11月10日（火）**
**問合せ先**　102　千代田区紀尾井町 7-1
上智大学　理工学部　一般科学研究室　情報科学部門　伊藤　潔（研究グループ幹事）
Tel. 03 (3238) 4143　FAX 03 (3238) 3885　e-mail : itohkiyo@hoffman.cc.sophia.ac.jp
＊計測自動制御学会（離散事象システム研究会），電気学会（金属産業技術委員会，鉄鋼プロセス制御ソフトウェアのCAE調査専門委員会）協賛（予定）
＊研究会に発表申込希望者は研究発表申込書（**4月号**本欄末添付）を事務局研究会係までご送付ください．

# 第45回全国大会予約案内

第41回全国大会（平成2年後期）から，講演論文集の分売制を導入いたしました．これにより，論文集の価格が大幅に変わりましたので，購入担当者の方はご注意ください．

つきましては，講演論文集・参加・懇親会の「予約」を募集いたしますので，ぜひお申込みくださいますようご案内申しあげます．

期　日：平成4年10月11日（日）～14日（水）
会　場：徳島大学教養部（徳島市南常三島町 1-1）
論文集：B5判オフセット印刷　※論文集価格は消費税・送料込です

■第1分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　情報科学一般
　基礎理論及び基礎技術
　ネットワーク
　応用

■第2分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　人工知能及び認知科学
　　人工知能システム
　　パターン認識
　　生体情報処理
　　感性情報処理
　データ処理
　　音声処理
　　画像・図形処理

■第3分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　人工知能及び認知科学
　　基礎理論
　　自然言語処理
　データ処理
　　テキスト処理
　　マルチメディア処理

■第4分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　ソフトウェア
　　基礎理論
　　オペレーティングシステム
　　データベース・情報検索
　　プログラミング技術
　信頼性と安全性

■第5分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　ソフトウェア
　　プログラム言語及び仕様記述言語
　　言語処理系
　　ツール
　ソフトウェア工学

■第6分冊……予約価 4,000 円（定価 6,000 円）
　ハードウェア
　システム

■セット（上記6冊一揃，講演者索引・カバー付）……予約価 24,000 円
（定価 36,000 円）

参加費（プログラム・参加章含む）：会　員 1,000 円（賛助会員は正会員に準じます）．
非会員 2,000 円，学生　無料

申込締切：**平成4年9月4日（金）必着**
（締切後は予約扱いいたしませんので，ご了承ください）

# 第45回（平成4年後期）全国大会
# 論文集・参加・懇親会予約申込書

■申込締切：9月4日（金）必着

| 分　　冊 | 予約価（円） | 部　数 | 金　額（円） |
|---|---|---|---|
| 第1分冊 | 4,000 | | |
| 第2分冊 | 4,000 | | |
| 第3分冊 | 4,000 | | |
| 第4分冊 | 4,000 | | |
| 第5分冊 | 4,000 | | |
| 第6分冊 | 4,000 | | |
| セット（6冊一揃） | 24,000 | | |
| 参加費（プログラム，参加章含む） | 会員 1,000 | | |
| | 非会員 2,000 | | |
| 懇親会 | 4,000 | | |
| 合　計 | | | |

平成4年　月　日　　（論文集価格は消費税・送料込）
上記の通り予約いたします．

1. 代金は　□郵便振替，□銀行振込＊（該当にレ印）　　送金月日　月　日
   ＊全国大会専用銀行口座「三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774」
2. 請求書　通，納品書　通，見積書　通が必要です．
   〔注意〕団体名でまとめて送金される場合には，別紙に送金内訳を記入して事務局までお送りください．
   通信欄：
3. 担当者名　　Tel.　　（内　）
4. 申込先：106　東京都港区麻布台 2-4-2　保科ビル3F
   (社)情報処理学会　全国大会係　Tel. 03 (3505) 0505，FAX 03 (3584) 7925

……（切りはなさないでください）……

（送本先住所）（楷書でハッキリ記入してください）
〒

（機関名）

（氏　名）　　殿

（Tel.）

〔部数〕（記入しないでください）
論（1 2 3 4 5 6 ㊇）プ・参・懇

# 「DA シンポジウム '92」開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします．参加ご希望の方は，期日までに必要事項を申込書に記入のうえお申し込みください．

記

**日　時**　平成4年8月27日（木）12：00 受付開始（この日の昼食は用意しません）13：00 開会～
29日（土）12：00 散会

**場　所**　西浦温泉　南風荘（愛知県蒲郡市西浦町）Tel. 0533 (57) 2101, FAX 0533 (57) 1744

**交　通**　路線バス：東海道線　蒲郡駅～西浦温泉35分，タクシー：同左25分

**参加費**　会員32,000円，学生20,000円，非会員35,000円
(宿泊費（2日目昼食，消費税込み），懇親会費を含む)

**申込締切**　7月31日（金）

**連絡先**　106 東京都港区麻布台 2-4-2　保科ビル　(社)情報処理学会　DA シンポジウム係
Tel. 03 (3505) 0505, FAX 03 (3584) 7925

注）1. 参加申込後，やむを得ず参加を取り消される場合は，8月14日（金）までにお願いします．取り消しの連絡のない場合は，準備の都合上，参加費を徴収させていただきます．
2. 会場，宿泊施設（約100名）の都合で，お申込みに応じかねる場合がありますので，あらかじめご了承ください．

## プ ロ グ ラ ム

**第1日　8月27日（木）**

**受付開始**（12：00～）

**開　会**（13：00～）

**セッション1**　論理合成(1)（13：30～15：00）

An Algorithm for Designing Pipeline Processing Circuit　徐　行倹，石塚　満（東大）

A Linear-Time Register Allocation Algorithm
Vasily Noshnyaga, Keikichi Tamaru (Kyoto University)

代数的仕様記述を用いたマイクロプログラムの自動合成
木下　貴史（豊橋技科大），直井　徹（岐阜大），今井　正治（豊橋技科大）

—休　憩（15：00～15：20）—

**セッション2**　論理合成(2)（15：20～17：20）

順序回路の誤設計自動修正　藤田　昌宏（富士通研）

レイアウトを考慮した論理合成　田宮　豊（富士通研）

ハードウェアマクロ等の既設計マクロを利用した演算器合成の一手法　若林　一敏，藤田　友之（日電）

レジスタ転送レベルからの VLSI の合成手法　野田　浩明，高橋　瑞樹，横山　昌生（シャープ）

—夕　食（18：30～20：00）—

**イブニング討論**（20：00～22：00）

**第2日　8月28日（金）**

**＜会場A＞**

**セッション3**　テスト(1)（8：30～10：00）

ACT-2D：高速論理 LSI 用高性能 AC テスト生成アルゴリズム
池田　光二，畠山　一実，林　照峯，森脇　郁（日立），
内山　聡（日立エンジニアリング），坂本　頼之（日立コンピュータエンジニアリング）

HAL Ⅲ を用いた故障シミュレーション方式　橋本　訓治，嵯峨　幸治，岡田　克彦，蔵下　正広，平林　良啓，
中田登志之，高崎　茂，阿佐美眞一（日電）

依存木を用いたテストパターン生成アルゴリズム　寺元　光生（NTT）

—休　憩（10：00～10：20）—

**セッション4** テスト(2) (10：20〜11：50)

組合せ回路の故障診断システム　山崎 浩二，森下 高伸，山田 輝彦（明治大）

スキャンデザイン自動変換システム　安蔵 顕一，立石 昭光，井上 政則，鳥居千佳子，河村 匡彦（東芝）

ASIC 向きテスト設計自動化システム Mint　本原 章，太田 光保，細川 利典，竹岡 貞巳（松下電器）

—昼 食 (11：50〜13：00)—

**セッション5** レイアウト(1) (13：00〜15：00)

A Simple Proof of the Condition for Floor Planning　梶谷 洋司（北陸先端科学技術大学院大）

階層構造の再構成によるレイアウト最適化手法の検討　山内 貴行，玉柏 和男，神戸 尚志（シャープ）

動的ネット重み調整によるタイミング保証ミニカット配置手法　松崎日出夫，高橋 一浩，寺井 正幸（三菱）

階層的クラスタ分割に基づくデータパスレイアウト手法　境 敏親，若林 真一，吉田 典可（広島大）

—休 憩 (15：00〜15：20)—

**セッション6** レイアウト(2) (15：20〜16：20)

コンパクションに基づく4層概略配線手法　岡本 匠，石川 正樹，藤田 友之（日電）

可視グラフを基本探索構造とするラバーバンド逐次配線手法の実装と評価

粟島 亨，田中 博，福井 省三，佐藤 政生，大附 辰夫（早大）

**＜会場B＞**

**セッション7** 設計・検証(1) (8：30〜10：00)

スーパースカラアーキテクチャ評価用ワークベンチ　赤星 博輝，安浦 寛人，村上 和彰，弘中 哲夫（九大）

構造化分析法を用いた LSI 仕様記述・検証法の検討

長沼 次郎，松田 和浩，室岡 孝宏，小倉 武（NTT）

プロセッサのパイプライン制御に関する動作レベル設計／検証支援

岩下 洋哲，中田 恒夫，広瀬 文保（富士通研）

—休 憩 (10：00〜10：20)—

**セッション8** 設計・検証(2) (10：20〜11：50)

汎用エンジンの開発と論理診断への応用　菅沼 直昭（神戸大），村田 之広（松下電工），

蛇蝮 和寛，富田 昌宏，平野浩太郎（神戸大）

C言語ベースの高速論理シミュレーター　濱口 隆浩（ソニー）

Debugging Discrete Event Simulations by Recognizing and Naming Patterns of Events : a Case Study

Benoit Gennart (NTT)

—昼 食 (11：50〜13：00)—

**セッション9** 設計・検証(3) (13：00〜14：00)

機能情報抽出の一応用：論理合成後の設計変更およびその動作検証

大村 昌彦（京大），安浦 寛人（九大），田丸 啓吉（京大）

二分決定グラフの並列処理アルゴリズムについて　木村 晋二，松本 高明，羽根田博正（神戸大）

**セッション10** 論理合成(3) (14：00〜15：00)

HDL からのトップダウン論理合成　野地 保，青木 洋（三菱）

ハイレベル・シンセシスシステム PARTHENON を用いた RIPE チップの設計

松浦 一教，本沢 邦朗，松下 昭司，今井 正治（豊橋技科大）

—休 憩 (15：00〜15：20)—

**セッション11** フレームワーク (15：20〜16：20)

設計支援環境における設計モデルの整合性検証手段について　新井 浩志，深澤 良彰，門倉 敏夫（早大）

プロシージャインターフェースの手法を用いたレイアウトツールの統合

南光 康志，高橋 直哉，米澤 典剛（日電）

**招待講演** (16：30〜18：00)

CASE の現状　阿草 清滋（名大）

**懇 親 会** (19：00〜)

**第3日 8月29日（土）**

**セッション12** アナログ設計 (9：00〜10：00, 10：20〜11：20)

アナログ回路設計手順の保存と再利用化の手法　森江　隆史，小野寺秀俊，田丸　啓吉（京大）

アナログ LSI の機能セル配置手法

山田　耕司（東芝マイクロエレクトロニクス），川北　真裕，佐々木　尚（東芝）

アナログ回路用多層プリント基板設計支援システム MULTI-PRIDE

安井　卓也，遠山　望，畝　康彦，渡辺　敏正，翁長　健治（広島大）

デバイスセルジェネレータ　久家　弘義，岸本　有豊（日電）

## 情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集号への論文投稿のおすすめ

**論文誌編集委員会**

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております．当学会のマルチメディア通信と分散処理研究会が主催する研究会やシンポジウムにおいてこれまでに発表された論文，また本テーマに関連した論文を広く公募しますので奮って投稿されますようご案内いたします．

**記**

（1） 執筆要領　情報処理学会機関誌原稿執筆案内（学会誌 1991 年 4 月号）の論文誌投稿規定によります．

（2） 査読手続　通常の論文誌投稿論文と同一です．

（3） 投稿締切　1992 年 10 月 31 日

投稿論文には，『マルチメディア通信と分散処理』特集と朱書してください．

（4） 査読完了予定　1993 年 3 月末（照会も含む）

（5） 特集号予定　1993 年 6 月号

なお，上記のように投稿論文は一般投稿と全く同じ要領で扱われますが，査読が通常よりも迅速に行われ，かつ採録された論文は一括掲載されるという利点があります．

# 「DA シンポジウム '92」参加申込書

平成4年　月　日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます.

**○参加費**（該当するものを○でかこむ）

会員　32,000円，学生　20,000円，非会員　35,000円

＊ 参加費には，資料代が含まれています.

**○論文集のみ**（5,000円，送料込）＿＿＿冊

**○送金方法**（該当するものを○でかこむ）

合計＿＿＿＿＿＿円を

a）当日，会場受付にて支払います.

b）現金書留で　＿＿＿月＿＿＿日送金します.

c）銀行振込（いずれも普通預金口座）で

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. | 第一勧銀虎ノ門支店 | 1013945 | 4. | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632 |
| 2. | 三菱銀行虎ノ門公務部 | 0000608 | 5. | さくら銀行東京営業部 | 4298739 |
| 3. | 住友銀行東京公務部 | 10899 | 6. | 三和銀行東京公務部 | 21409 |

名義人　東京都港区麻布台 2-4-2　社団法人　情報処理学会

・送金人名義　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください.

請求書　　通，見積書　　通，納品書　　通

請求先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

注）申込書は1枚1人としてください.（コピーで申し込むこと）

**○申込先・送金先**（FAX も可）

情報処理学会　DA シンポジウム係　106 東京都港区麻布台 2-4-2　保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505　FAX 03 (3584) 7925

**○アンケート**（部屋割りの参考にします）

（1）たばこ：□すう　□すわない

（2）年　齢：□20代　□30代　□40代　□50代以上

（3）その他ご要望があればお書きください.

---

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者
連絡先 〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

機関・
部課名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

フリガナ
氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿（□男性・□女性）

Tel.＿＿＿＿＿＿＿＿（ex.　　）FAX＿＿＿＿＿＿＿＿

# 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」
# 論文募集

## —21世紀をにらんでオブジェクト指向 DBMS の今後を展望する—

オブジェクト指向 DBMS は次世代データベースシステムの有力候補として，現在活発な研究開発や製品化が進められている．また，エンジニアリング分野を中心とした実業務への適用も開始され，最近はビジネス分野への適用も真剣に議論されるようになってきた．一方で，各種応用要求に対応する上で，現状のオブジェクト指向 DBMS の限界や問題点も明らかになってきている．本シンポジウムでは，オブジェクト指向 DBMS の現状を総括し今後を展望することをメインテーマとする．また，これを通じ今から 10 年後の近未来のデータベースシステム像を具体化する機会ともしたい．これに関係したトピックの論文投稿を，多数お待ちいたします．特に，実務サイドからのオブジェクト指向 DBMS を用いたアプリケーション開発や評価等の論文も積極的に歓迎いたします．

**日　時**　平成4年12月8日（火），9日（水）

**場　所**　機械振興会館大ホール（地下2階）

**論文募集要領**

1) トピック：特に上記主題に関するトピック，およびアドバンスト・データベースシステムの構築・管理・運用全般に関するトピック．
2) 応募論文は邦文または英文とする．論文長は刷り上がり 10 ページ（邦文の場合は約 9,000 字，英文の場合は約 5,000 語）を上限とし，共にアブストラクトを含むものとする．
3) 応募論文は情報処理学会データベースシステム研究会が査読し採否を決定する．採録論文は会議録に収録されると共に，シンポジウムで口頭発表する．
4) 応募論文は，論文コピー3部を下記に郵送あるいは持参してください．
   106　東京都港区麻布台 2-4-2　保科ビル 3 F
   (社)情報処理学会　アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム係
   Tel. 03 (3505) 0505　FAX 03 (3584) 7925
5) スケジュール
   論文応募締切　平成4年9月16日（水）必着
   採否通知　平成4年10月16日（金）までに通知
   カメラレディ原稿提出締切　平成4年11月6日（金）必着

本シンポジウムでは応募論文の発表の他に，基調講演，招待講演，サーベイセッション，パネル討論等を予定しています．また，シンポジウム開催前日の12月7日（月）には同じ場所で，講習会も予定しています．シンポジウムと講習会のプログラムや参加申し込み等につきましては，今後本欄にてお知らせいたします．

# プログラミング・シンポジウムについて

## 第34回 プログラミング・シンポジウム発表募集

**日　時**　平成5年1月12日（火）午後1時より14日（木）正午まで

**場　所**　箱根ホテル小涌園

**問合せ先**　情報処理学会　シンポジウム係 Tel. 03 (3505) 0505

**発表申込**　9月5日（土）までに，氏名，所属，連絡先 (e-mail アドレスも)，発表の題と要旨を A4 判用紙 1～2枚に書いて事務局宛にお送りください．その採否は9月末までにお知らせいたします．発表原稿の締切は11月19日（木）です．発表は口頭発表およびポスタ発表が可能です．ポスタ発表希望の方は申込時にその旨を明記してください．

**参加申込**　10月号に参加申込書を，また11月号にプログラムを掲載する予定です．

注）

（1）　学術論文発表の場というより，多方面の人々の共通の討論の場であり，意見の交換の場であると考えています．

（2）　情報処理の健全や発展のために，多数の方々が参加され，とくに利用者の立場から活発に発言されることを期待します．

（3）　未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します．

（4）　ポスタ発表およびマイコンデモ・ビデオデモなどの場所を用意する予定です．

会告

## 本会協賛等の行事案内*

第48回 産業用ロボット利用技術講習会
　平成4年7月23日（木)～24日（金）　大阪府立婦人会館

セミナ「コンピュータ・ビジュアライゼーションの新しい展開を探る」
　平成4年9月2日（水)～3日（木）　コミュニティプラザ大阪

セミナ「ニューラル/ファジィ/GA の新しい展開を探る」
　平成4年9月10日（木)～11日（金）　東京・中央大学
　平成4年10月6日（火)～7日（水）　大阪・なにわ会館

国際シンポジウム「コンピュータワールド '92」
　平成4年11月4日（水)～6日（金）　神戸商工会議所会館

ハイテクシンポジウム山口 '92「メディアシンポジウム」
　平成4年12月11日（金）　山口グランドホテル

第10回 光波センシング技術研究会
　平成4年12月15日（火)～16日（水）　大阪・三田出版会

第4回 自律分散システム・シンポジウム
　平成5年1月13日（水)～14日（木）　東京ガーデンパレス

'93スイッチング電源システム展／シンポジウム
　平成5年2月23日（火)～26日（金）　東京・サンシャインシティコンベンションセンター

ボード・コンピュータ '93
　平成5年2月24日（水)～26日（金）　東京・サンシャインシティコンベンションセンター

* 詳細は本号会議案内欄参照

# 「1993年情報学シンポジウム」論文募集

## ——オブジェクト指向と利用者インタフェース——

**目　的**　科学における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため，データ・知識に関する基本的問題とその整備・利用に関するアイデアや経験を，研究者・開発者・利用者が共有し，交流をはかる．本シンポジウムは1984年以来毎年開催されている．

**トピック**　ホットな話題となっているオブジェクト指向技術と利用者インタフェースについて，データ・知識の整備・利用・流通等の視点から，それらの評価，基本的問題，課題，今後の潮流等を検証したい．例えば，次の分野（限定はしない）を討議対象とする．

1) オブジェクト指向によるアプリケーション設計，プログラミング言語，データベース，システム分析／設計，開発／実行環境，利用者インタフェース，分散，他．

2) 利用者インタフェースへのニーズ，ヒューマン・ファクタ，モデル，実現技術（マルチメディア，オブジェクト指向，ウィンドウ・システム，ハード等），設計技法（対話形式，直接操作，コマンド言語），評価技法，他．

**共同主催**（予定）　日本学術会議　情報学研究連絡委員会
学術文献情報研究連絡委員会
学術データ情報研究連絡委員会
情報工学研究連絡委員会
情報処理学会，人工知能学会，日本医学会，日本化学会，日本数学会，日本地理学会，日本物理学会，情報知能学会，日本生物物理学会

**後　援**（予定）　学術情報センター，計測自動制御学会，国際電信電話，情報科学技術協会，情報通信学会，電子情報通信学会，日本医療情報学会，日本科学技術情報センター，日本機械学会，日本金属学会，日本原子力学会，日本材料科学会，日本材料学会，日本生化学学会，日本電信電話，日本動物学会，日本農学会，日本分子生物学会，日本分析化学会，日本薬学会，化学情報協会，ICOT

**日　時**　1993年1月13日（水）～14日（木）9：30～17：00

**場　所**　日本学術会議講堂　106　港区六本木 7-22-34（地下鉄千代田線，乃木坂駅）

**講演申込方法**　ワープロ使用でA4用紙4～10枚の論文と題目，氏名，連絡先，職名を記入した別紙を添えて下記に申し込む．

**講演申込締切**　1992年9月19日（土）

**採否通知**　プログラム委員会で審査し，採否は1992年10月1日までに通知する．

**最終原稿締切**　1992年11月30日（月）

**参加申込**　氏名連絡先，職名，資料必要の有無をはがきに記入し12月20日までに下記に申し込む（当日受付もあるが資料の不足の際は事前登録者を優先する）．

**参 加 費**（資料代として）予定　共催学協会員7,000円，学生2,000円，一般10,000円

**宛　先**　情報処理学会　シンポジウム係
106　東京都港区麻布台 2-4-2　保科ビル 3F　Tel. 03 (3505) 0505　FAX 03 (3584) 7925

# 平成5年度研究会等の新設提案について

平成5年度に研究会・調査委員会の新設を希望する会員は，**8月28日**（金）までに所定の書式により，研究会（調査委員会）新設提案書を調査研究運営委員長に提出してください．書式その他詳細は学会事務局研究会係までお問合せください．

# 第2回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム開催について

## ——大学の改革と学術法人活性化を目指して——

**日　時**　平成4年10月12日（月）13：00〜17：30

**場　所**　鹿島建設 KI ビル地下大会議室
〔営団地下鉄千代田線赤坂下車　港区赤坂 6-5-30　Tel. 03（5561）2111〕

**主　催**　日本工学会

**共　催**　日本工学アカデミー／材料連合フォーラム／日本工業教育協会

わが国の科学技術による国際貢献の声が広く国民に浸透していく中で，具体的に国富をどのような機関を対象に投入すべきかが問われるようになってきた．このような情勢の中，わが国の科学技術政策大綱を示す科学技術会議諮問第18号「新世紀に向けてとるべき科学技術の総合的基本政策について」が総理大臣へ答申された．その中で科学技術が経済発展の原動力であり，社会の諸問題を解決する手段であること，知的創造力を資源として立国するわが国は将来へ向けて，独創的な理論や技術を自ら構築する使命があること等の認識と，科学技術に対する夢と情熱を持った人材が多数輩出し，あらゆる分野で存分に活躍できることへの配慮が示されている．本シンポジウムはこれらの視点に焦点をあてて，広く重要性を産・学・官・政各界へ訴え，政策実現への結実を願って開催するものである．

### プ　ロ　グ　ラ　ム

| | |
|---|---|
| 開会の辞（13：00〜13：10） | 石川　六郎（日本工学会会長） |
| 特別講演（13：10〜14：00） | |
| 「国際貢献と科学技術」 | 中山　太郎（前外務大臣・衆議院議員） |
| 講　演（Ⅰ）（14：00〜14：50） | 座長　末松　安晴（東京工業大学長・日本工学アカデミー政策委員長） |
| 「新世紀へ向けての大学の在り方」 | 西澤　潤一（東北大学長・日本学術会議会員） |
| 講　演（Ⅱ）（15：10〜16：00） | 座長　富浦　　梓（日本工学アカデミー理事） |
| 「産業界から大学へ期待するもの」 | 未　　定（経済団体連合会折衝中） |
| 講　演（Ⅲ）（16：00〜16：50） | 座長　田中　郁三（日本工学会副会長） |
| 「若者に理工学への夢と情熱を与えるために」 | 田丸　謙二（日本学術会議化学研究連絡委員長） |
| 問題提起（16：50〜17：20） | |
| 「大学の改革と学術法人活性化」 | 内田　盛也（日本工学会政策委員長） |
| 閉会の辞（17：20〜17：30） | 堀　　幸夫（日本工学会副会長） |
| 懇 親 会（17：30〜19：30） | |

**参 加 費**　1,000円（懇親会費は別途申し受けます）

**参加申込**　往復はがきに氏名・年齢・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名・会員番号を明記のうえ，返信はがき表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください．(FAX でのお申込みは受付ません)

**申込締切**　平成4年9月末日必着

**申 込 先**　107　東京都港区赤坂 9-6-41　(社)日本工学会「10月シンポジウム」係宛　　Tel. 03（3475）4621

**参 加 証**　参加証（返信はがき）を順次お送りいたしますので，当日ご持参ください．

# Rengo 92

——21世紀をのぞむ技術課題——

## 平成4年電気・情報関連学会連合大会の開催案内
## —本年より内容が刷新されます—

本連合大会は，電気学会，電子情報通信学会，照明学会，テレビジョン学会，情報処理学会が毎年主催するもので，大正15年以来の歴史を有する大会であります。本年は，大幅な改革を行い，関連5学会の会員が共通して興味が持てるテーマ，あるいは学際的テーマを選び，学会員はもとより，会員以外の方を含め広い範囲の方々に参加いただける魅力ある大会とすべく計画いたしました。お誘い合わせの上多数ご参加下さい。

**会　　期**　平成4年9月9日(水)～10日(木)

**会　　場**　芝浦工業大学（東京都港区芝浦3-9-14）

**統一テーマ**　21世紀をのぞむ技術課題
豊かな社会を実現する人に優しい技術

**特別講演**　9日(水)午後1時30分～3時10分
「21世紀への技術文明の底流」・・・・・・石井威望氏（東京大学名誉教授・慶応大学）

**日本学術会議**　9日(水)午後3時20分～5時50分

**シンポジウム**　テーマ「地球環境問題の21世紀に向けての研究課題」
地球規模の環境問題に対して，これに取り組んでいる日本を代表する研究機関の方々が，研究の現状と課題，将来展望を報告し，それをもとにパネルディスカッションを行います。

**講　　演**　下記の5つのテーマに基づき，38の講演が行われます。
講演日程は次頁の大会日程表をご参照下さい。なお，講演は午前9時，午後1時30分より開始します。
(1)21世紀におけるインフラストラクチャー
(2)21世紀のライフスタイルを支える技術
(3)人と機械の協調に向けて
(4)AI，ファジー，ニューラルネットの将来を探る
(5)エネルギーと半導体の極限技術　—21世紀への展開—

**大会参加費**　会員2,000円，学生1,000円，会員外3,000円
参加は当日も受付ますが，下記の予約申込書でご予約いただきますと，大会前にプログラムと参加章を送付致します。

**講演論文集**　オフセット印刷により講演論文集を出版します。昨年までは分冊でしたが，今年は全1冊となります。予約販売を致します。論文集予約については下記の予約案内を参照して下さい。
価格　全1冊　10,000円（但し大会参加の学生は2,000円）

**問 合 先**　〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1　新有楽町ビル11F
電気学会　連合大会係　TEL 03(3201)0983　FAX 03(3201)1983

**主　　催**　電気学会，電子情報通信学会，照明学会，テレビジョン学会，情報処理学会

**平成4年電気・情報関連学会連合大会日程**

| 会場 | 9月9日（水） | | 9月10日（木） | |
|---|---|---|---|---|
| | 9：00～12：30（午　前） | 13：30～17：50（午　後） | 9：00～12：30（午　前） | 13：30～17：00（午　後） |
| 1 | (B)「21世紀のライフスタイルを支える技術」 | ・特別講演<br>・日本学術会議シンポジウム | (D)「AI, ファジイ, ニューラルネットの将来を探る」 | |
| 2 | (A)「21世紀におけるインフラストラクチャー」情報通信 | | (E)「エネルギーと半導体の極限技術—21世紀への展開—」エネルギー | ボストトランジスタ |
| 3 | (C)「人と機械の協調に向けて」 | | (B)(C)（融合会場）「21世紀のライフスタイルを支える技術」「人と機械の協調に向けて」 | (A)「21世紀におけるインフラストラクチャー」エネルギー・交通 |

## 講演プログラム

### .21世紀におけるインフラストラクチャー

〔A－Ⅰ〕21世紀の情報・通信ネットワーク

9月9日・9時～12時30分

〔司会〕向井久和（沖電気工業）

| | | 講演時間 |
|---|---|---|
| A－1. | 情報通信の進歩を支えるネットワーク技術……井上友二（NTT通信網総合研究所） | 40分 |
| A－2. | 発展するパーソナル通信……古谷之綱（日本電気C&Cシステム研究所） | 40分 |
| A－3. | マルチメディア・サービス……森田修三（富士通研究所） | 40分 |
| A－4. | ネットワーク化される情報システムの将来展望……松下　温（慶応大学） | 40分 |
| A－5. | 情報化の進展とセキュリティー……岡本栄司（北陸先端科学技術大学院大学） | 40分 |

〔A－Ⅱ〕21世紀の電力供給システム

9月10日・13時30分～17時

〔司会〕向井久和（沖電気工業）

| | | 講演時間 |
|---|---|---|
| A－6. | 基幹電力系統の高度情報化……小沢和佳（中部電力） | 40分 |
| A－7. | 21世紀の社会を支えるエネルギー源……藤家洋一（東京工業大学・原子力工学研究所） | 40分 |

休　憩　（10分）

〔A－Ⅲ〕21世紀の交通システム　〔上記21世紀の電力供給システムと同会場〕

| | | |
|---|---|---|
| A－8. | 将来の公共輸送システム……小野山悟（鉄道整備基金） | 40分 |
| A－9. | 将来の道路交通システム……川嶋弘尚（慶応大学） | 40分 |
| A－10. | 電子情報化による自動車の進歩……廣田幸嗣（日産自動車総合研究所） | 40分 |

**B.21世紀のライフスタイルを支える技術**

9月9日・9時～12時30分
〔司会〕沖　允人（足利工業大学）

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| B－1. | 都市景観と建築……三谷幸司（大林組） | 50分 | 10分 |
| B－2. | ホームエレクトロニクスの現状と開発<br>快適な生活のための住宅のインテリジェント化<br>…木村省治（松下電工IBS（インテリジェントビルシステム）開発研究所） | 50分 | 10分 |
| B－3. | リハビリテーション工学の現状と開発――高齢化社会に対応して<br>……伊藤宏司（広島大学） | 50分 | 10分 |
| | 総括質問 | 30分 | |

**B.21世紀のライフスタイルを支える技術**
**C.人と機械の協調に向けて〔両テーマの融合会場〕**

9月10日・9時～12時30分
〔司会〕上田博唯（パーソナル情報環境協会FRIEND21研究センタ）

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| BC－1. | アミューズメント産業の行方……佐藤秀樹（セガ・エンタープライゼス） | 40分 | 10分 |
| BC－2. | 「仮想現実」研究とその応用 ……廣瀬通孝（東京大学） | 40分 | 10分 |
| BC－3. | ハイビジョンと未来社会，広がりのある生活<br>……杉浦幸雄（NHK放送技術研究所） | 40分 | 10分 |
| BC－4. | 未来映像とインターフェイス，三次元映像<br>……岸野文郎（ATR通信システム研究所） | 40分 | 10分 |
| | 総括質問 | 10分 | |

**C.人と機械の協調に向けて**

9月9日・9時～12時30分
〔司会〕中川正樹（東京農工大学）

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| C－1. | ヒューマンコンピュータインタラクションの展望……安西祐一郎（慶応大学） | 50分 | 10分 |
| C－2. | FRIEND21プロジェクト<br>……上田博唯（パーソナル情報環境協会FRIEND21研究センタ） | 50分<br>50分 | |
| C－3. | デザインとヒューマンインタフェース……黒須正明（日立製作所） | 50分 | |
| C－4. | 障害者インタフェース……篠原正美・森川　治（製品科学研究所） | | |

**D.AI，ファジイ，ニューラルネットの将来を探る**

9月10日・9時～17時
〔司会〕熊沢逸夫（東京工業大学）

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| D－1. | 第5世代コンピュータープロジェクトの成果と波及効果<br>……渕　一博（新世代コンピュータ技術開発機構） | 60分 | 10分 |
| D－2. | 人工知能の現状と将来……小林重信（東京工業大学） | 60分 | 10分 |
| D－3. | ファジイ技術の現状と展望……向殿政男（明治大学） | 60分 | 10分 |
| D－4. | 生体神経回路研究の現状と将来……松本　元（電子技術総合研究所） | 60分 | 10分 |
| D－5. | ファジイと画像パターン認識……廣田　薫（法政大学） | 60分 | 10分 |

D－ 6.　ニューラルネットワーク理論の現状と将来……篠本　滋（京都大学）　60分　10分

**E.エネルギーと半導体の極限技術——21世紀への展開——**

9月10日・9時～12時30分

〔司会〕田中祀捷（電力中央研究所）

〔E－Ⅰ〕地球に優しいエネルギーを求めて——究極のエネルギー変換・蓄積

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| E－ 1. | 低温超電導……塚本修巳（横浜国立大学） | 30分 | 5分 |
| E－ 2. | 高温超電導……田中昭二（東海大学） | 30分 | 5分 |
| E－ 3. | 太陽光発電　最近の進歩と地球環境問題への貢献……浜川圭弘（大阪大学） | 30分 | 5分 |
| E－ 4. | 燃料電池（特にSOFC）……田川博章（横浜国立大学） | 30分 | 5分 |
| E－ 5. | 原子力（特にFBR）……近藤駿介（東京大学） | 30分 | 5分 |
| E－ 6. | 核融合……井上信幸（東京大学） | 30分 | 5分 |

9月10日・13時30分～17時

〔司会〕笠井良太（NTTLSI研究所）

〔E－Ⅱ〕ポストトランジスタを求めて——究極のアクティブエレメント

| | | 講演時間 | 質疑時間 |
|---|---|---|---|
| E－ 7. | 多機能シリコンデバイス……大見忠弘・柴田　直（東北大学） | 35分 | 5分 |
| E－ 8. | 量子効果デバイス……榊　裕之（東京大学） | 35分 | 5分 |
| E－ 9. | 超電導デバイス……早川尚夫（名古屋大学） | 35分 | 5分 |
| E－10. | バイオ素子……相澤益男（東京工業大学） | 35分 | 5分 |
| E－11. | 知能材料……高橋　清（東京工業大学） | 35分 | 5分 |

## 平成4年電気・情報関連学会連合大会
## 参加ならびに講演論文集の予約のお願い

参加申込と講演論文集の予約募集を行いますので，参加を予定されている方は前もってご予約いただきますようお勧め申し上げます。

参加をご予約いただきました方々へは，プログラムと参加章を出来上がり次第お送りいたします。また，参加予定の方が，講演論文集のご予約をされた場合には，論文集引換券をお送りし，会場で講演論文集とお引き換えいたします。

下記の要領により予約の受付をいたします。お早めにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

**予約申込締切**　平成4年8月20日（木）

**申　込　先**　〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1　新有楽町ビル
電気学会　連合大会係　☎03-3201-0983

**申込方法**　送金方法によって若干異なります。

(1) 現金書留で送金の場合
- 予約申込書を同封してお申込下さい。

(2) 郵便振替で送金の場合
- 局指定の用紙を利用，東京9-3168社団法人電気学会宛
- 振替用紙の通信欄に送金明細と送付先をご記入下さい。

(3) 銀行振込で送金の場合
- 振込口座　住友銀行丸の内支店　普通預金口座897934名義「社団法人電気学会全国大会」
- 予約申込書を連合大会係宛郵送して下さい。

# 平成4年電気・情報関連学会連合大会
# 参加ならびに講演論文集予約申込書

予約申込締切日　8月20日（木）

| | | |
|---|---|---|
| ふりがな | | 勤務先（大学）名 |
| 氏　　名 | | |
| 所属学会 | | ☎　（　） |



該当する欄の□に✓印を記入して下さい。

| 予約内訳 | | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 大会参加費 | 会員 | □ 2,000円 | |
| | 学生（大学院含） | □ 1,000円 | |
| | 会員外 | □ 3,000円 | |
| 講演論文集 | | □ 10,000円 | □会場での受取を希望 |
| | 参加する学生のみ | □ 2,000円 | □(大会終了後)送付を希望 |
| 合計金額 | | 円 | |

（講演論文集価格は消費税，送料込み）

平成4年　　月　　日
上記の通り予約いたします．

1．代金は　□郵便振替，□銀行振込（該当に✓印）　送金月日　　月　　日
　・郵便振替口座　東京9-3168番　名義「社団法人電気学会」
　・住友銀行丸の内支店普通口座 897934　名義「社団法人電気学会全国大会」
2．請求書　　通，納品書　　通，見積書　　通が必要です．
　（指定用紙があればお送り下さい．）
3．ご担当者名　　☎　　（内線　　）
4．申込先　〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1　新有楽町ビル11階
　（社)電気学会　連合大会係　☎03-3201-0983

---------- （切り離さないで下さい） ----------

(送付・送本先)(楷書でハッキリ記入願います)
〒＿＿＿

(所属名)

(氏　名)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様
(電　話)

# 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・後援行事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料で取扱いますのでお知らせします．なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です．

また，教官募集欄の掲載は，平成4年4月号掲載分から，下記のとおり有料となりましたので，あわせてお知らせします．

記

**1. 掲載条件**

| 件 名 | 内 容 | 掲載単位 | 掲載料金 |
|---|---|---|---|
| 行事次第書 | 国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る． | 1ページ または 1/2 ページ | (共 催)<br>1ページ 50,000円<br>1/2 ページ 30,000円<br>(協賛・後援)<br>1ページ 100,000円<br>1/2 ページ 60,000円 |
| 教官募集 | 学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る． | 1/5 ページ | 1件当り 20,000円 |

**2. 申込方法**

B5判任意の用紙で，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください．

**3. 原稿の書き方**

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします．B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本誌会告記載内容をご参照願います．

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください．

なお，記事内容については本会は責任を負いません．

**4. 申込期限**

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します．

**5. 掲載料金**

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月月末までにお支払いください．

**6. 掲載申込先**

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 有料会告係
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

# 情報処理学会研究報告，全国大会講演論文集，シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱いについて

標記学会出版物に掲載された論文等の著作権の取扱いについてはすでにお知らせしたとおり，国内外での科学技術情報の交流の拡大に伴い，標記論文等についても転載の許諾を求める要請が増加するとともに，無断複写（コピー）等の著作権の侵害もまた増加することが考えられますので，標記論文等についても著者に不利益が生じることのないよう十分な配慮を払うとともに，著作権の侵害に対し学会が対応できるようにするため，具体的な措置として機関誌原稿執筆案内の著作権に関する規程を準用して下記の規程を設けております．

つきましては，平成２年８月以降投稿された標記論文等の著作権は原則として情報処理学会に帰属するものといたします．また，それまでに掲載された論文および投稿中でその後掲載された論文につきましても，必要な場合には本制度の趣旨にかんがみ規程を準用させていただくよう会員各位のご了承をお願いいたします．

記

## 情報処理学会研究報告，全国大会講演論文集，シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱い

**1　著作権の帰属**

（1） 標記学会出版物に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する．

（2） 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議の上措置する．なお特別な事情としては次のような例を想定する．

- 依頼論文等であって，その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので，著作権の本会への移転帰属に関し当該法人等の了解が得られない場合．
- 特別講演記事などで著者の了解が得られない場合．

**2　著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等**

（1） 論文等の著作権は本学会に帰属するが，著作者人格権は著者に帰属する．ただし，著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し，本学会はこれに異議申立て，もしくは妨げることをしない．この場合著者は本学会に申し出を行い，また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること．

（2） 本学会は論文等の複製をおこなうことができる．但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る．

（3） 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合，本学会は理事会において審議し，適当と認めたものについて要望に応ずることができる．但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る．

（4） 前項の措置によって，第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告の上，本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する．

**3　著作権侵害等に関する注意事項**

（1） 執筆に当っては他人の著作権の侵害，名誉毀損，その他の問題を生じないよう十分に配慮すること．

（2） 著者は公表された著作物を引用することができる．引用した場合はその出典を明示すること．

（3） 万一，執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ，第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う．

# 海外からの送金方法について

海外からの会費，論文誌購読費，各種行事参加費，各種図書購入費等については，円またはドルの銀行小切手により送金されていますが，次のような問題があります．

1. 銀行小切手作成の手間がかかる．
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により，常に過不足を生じ，経理上支障がある．
3. 円またはドルに拘らず，1,500〜2,500円の換金手数料をとられる．

この点を改善するため，海外からは「VISA」，「Master Card」，「American Express」，「Diner's Club」により円立で送金できますのでお知らせします．なお，申込書様式は次のとおりですが，A4判用紙を用い必ず郵送してください（FAXは不可）．



If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN
Hoshina Bldg., 2-4-2 Azabudai, Minato-ku
Tokyo 106, Japan
Phone: 81-3-3505-0505 FAX: 81-3-3584-7925

I wish to pay with my credit card. □

Circle one: Master Card VISA American Express Diner's Club

(1) Card number _____ _____ _____ _____

(2) Expiry date _____ / _____

(3) Full name of holder as it appears on the card _____

(4) Amount _____ Japanese Yen

(5) Details (annual fees, journal, etc.) _____

_____

_____

(6) Mailing address

_____

_____ (Country)

Phone _____

FAX _____

Date _____

Signature

_____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥ 1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to: Information Processing Society of Japan
Bank account no. 046-1013945
Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

# IFIP TC 7 第16回 国際会議論文募集のお知らせ

IFIP TC7—システム・モデリングと最適化—の第16回国際会議が1993年7月5日から9日までフランスのCOMPIÈGNEで開かれます．現在論文募集の段階でその小冊子が下記事務局に請求すると送付されます．アブストラクトの締切などは以下のとおりです．

1992年10月15日　アブストラクト期限

1993年 1 月15日　論文採択通知

1993年 2 月 8 日　発表者出席確認

**アブストラクト要領**　会議事務局あて2～4ページの長さのアブストラクト（印字のこと，シングルスペース）を5部，宛名書きに IFIP '93 と書いて送ること．

**会議事務局**

INRIA—Rocquencourt, Bureau Cours/Colloque, IFIP '93

Domaine de Voluceau, BP 105, 78153 Le Chesnay Cedex, FRANCE

Tel. (33) (1) 39 63 56 00　　FAX (33) (1) 39 63 56 38, e-mail : symposia@inria.fr

**国内問合せ先**　TC7 委員　東京理科大学　矢島敬二　Tel. 03 (3260) 4271

# 平成4年度の会費，論文誌・欧文誌購読費の納入について（お願い）

本年度の会費および購読費未納の方には，6月下旬に郵便振替用紙を発送いたしました．会費および購読費は前納を原則としておりますので，未納の方は早急にご納入くださいますようお願いいたします．

なお，7月末日までにご納入いただけない場合は，9月から学会誌・購読誌の発送を停止させていただきます．後日ご納入いただいても，停止期間の学会誌・購読誌をお送りできないこともありますのでご了承ください．

**〔自動振替納入利用の方へ〕**

去る3月27日に振替未済の方は，7月27日に再振替いたします．

振替金額は7月上旬にあらためてご通知いたしましたので，預金残高をご確認いただき，振替額不足にならないようご留意ください．振替された場合には，預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されます．

OOPSLAは研究者・開発者・技術者らがオブジェクト指向に関する研究成果や使用経験を分かち合うために一同に会する最高の場です。OOPSLA'92コンファレンスでは、一般講演・パネル・チュートリアル・ワークショップ・経験レポート・技術的デモンストレーション・ポスターセッション・教育者向けのシンポジウムに加え、オブジェクト指向関連の製品やサービスの展示会が催されます。皆様がバンクーバーに御来訪下さることを心よりお待ちしております。

申込みの御案内

一般講演・チュートリアル・宿泊・申込みなどについての案内書が、一昨年又は去年のOOPSLAに参加された方々、及びACM/SIGPLANの会員の方々に6月以降に自動的に発送されます。それ以外で案内書を御希望の方は、右記まで必ず書面又はファックスにてお申し込み下さい。（電話によるお申し込みは受け付けいたしません。）

〒106
東京都港区麻布台 2-4-2
保科ビル
（社）情報処理学会
国際担当 横山 宛
Fax: 03-3584-7925

acm®
Association for Computing Machinery
SIGPLAN

18-22 OCTOBER 1992
VANCOUVER TRADE & CONVENTION CENTRE
VANCOUVER, BRITISH COLUMBIA, CANADA

# 支部だより

## 北海道支部　支部大会講演募集——平成4年度電気関係学会北海道支部連合大会

**期　日**　平成4年10月10日（土），11日（日）

**会　場**　北見工業大学（北見市公園町 165）

**特別講演**　材料科学と工学；R＆D の一断面　　平林　眞（北見工大）

**一般講演**
講 演 者　主催学会の会員に限る（当支部所属に限らない）.
講演内容　最近行った研究および調査の報告，新しい企画および工事等の報告，新製品の紹介など.
講演時間　1件15分以内（質疑応答時間を含む）. ただし，都合により短縮することがある.
講演予稿　オフセット印刷による. 応募原稿は必ず実行委員会所定の用紙を使用すること. 図面，写真を含めて(A)は1件1頁（1,600字），(B)は1件2頁（3,400字）. 講演者には大会の次第書，講演論文集，論文別刷30部を進呈する. 有料別刷は取扱わない.
申込方法　申し出により講演申込書と原稿用紙を交付する.
申 込 先　下記の原稿提出先に同じ.

**講演参加費**　1件につき，発表形式(A)は2,500円，(B)は4,000円.

**原稿締切**　**8月7日（金）午後5時必着**（講演申込書および原稿に参加費を添えて提出する）

**原稿提出先**　060　札幌市北区北13条西8丁目　北海道大学工学部電気工学科事務室内
電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局　Tel. 011（716）2111（内 6485）本間

**懇 親 会**　10月10日（土）18：00〜　北見工業大学
正会員3,500円，学生会員2,000円，当日受付.

## 中国支部　支部大会講演募集——平成4年度電気・情報関連学会中国支部連合大会

**日　時**　平成4年10月25日（日）9：00〜17：00

**会　場**　山口大学工学部（宇部市常盤台 2557）

**講 演 者**　電気・情報関連学会会員に限る. ただし連名者には会員以外の方を含んでも差支えない.

**講演内容**　最近行った研究，計画および工事報告，現地試験報告，新製品紹介など.

**講演方法**　講演時間は，1件13分以内(質疑応答3分を含む). ただし，大会進行の都合により変更することがある.
講演は原則として OHP を使用すること.（ただし必要によりスライドを希望する方は，講演申込み時に申し出ること. なお，掛図は使用できない.）

**講演申込みと原稿提出**
（1）はがきで，下記申込み先に「講演申込書」「講演原稿用紙」および「原稿の書き方」を件数明示のうえ請求すること. ただし，同一人による講演は1件に限る.
（2）「講演申込書」および「講演原稿」は講演申込料（郵便振替）を添えて下記申込み先宛 8月20日（木）必着.
（3）「講演原稿」はオフセット印刷するため必ず所定の原稿用紙を使用して黒インクまたはタイプで作成すること（ワープロで作成する場合は縦・横の制限を守り，かつ，鮮明な原稿とすること）. また，原稿は図面，表を含み1件1頁または2頁とする.

**講演申込料**　講演1件1頁の場合2,800円（含論文集代）
講演1件2頁の場合3,500円（含論文集代）
なお，講演者には事前に論文集1部，別刷30部を送ります.

**申 込 先**　730　広島市中区基町 6-77　NTT 中国支社内　電子情報通信学会中国支部

**論文集予約**　1部2,800円（送料とも）**8月27日（木）**までに代金を添えて上記申込先宛送ること. 大会当日での販売部数には限りがあるので，確実に入手されたい方は予約をすること.

**特別講演**　超電導の応用　　佐藤謙一（住友電気工業）

**懇 親 会**　10月25日（日）特別講演終了後，会費3,500円
はがきで10月15日（木）までに上記申込先宛送ること. 会費は当日受付で支払うこと.

**交通案内**　JR（西日本）山陽本線　小郡駅〜宇部市内間（下記①または②を利用）

①JR（西日本）宇部線に乗車し宇部新川駅下車（所要時間50～60分）
②宇部市営バス（白鳥号）に乗車し宇部新川駅下車（約45分）
宇部新川駅～山口大学工学部間（下記③または④を利用）
③宇部市営バス（琴芝経由または参宮通り経由）風呂ケ迫行，ひらき台行に乗車し工学部前下車（約15分）
※上記の風呂ケ迫行，ひらき台行のうち，宇部高経由および東新川経由は，工学部前をとおらないので注意．
④タクシー（約10分）
駐車場はありません．
（宿泊案内） 各自，直接申し込むこと．
宇部市内

| | | | |
|---|---|---|---|
| グリーンシティーホテル | (755 | 宇部市寿町3丁目 | Tel. 0836 (32) 1456) |
| 国際ホテル宇部 | (755 | 宇部市西区小串 1204-2 | Tel. 0836 (32) 2323) |
| ロイヤルシティホテル | (755 | 宇部市東新川町 1-28 | Tel. 0836 (35) 0001) |
| ホテルリンクス宇部 | (755 | 宇部市中央町 3-65-245 | Tel. 0836 (22) 9000) |

小郡駅周辺

| | | | |
|---|---|---|---|
| ホテルみやけ | (754 | 山口県吉敷郡小郡町黄金町 | Tel. 08397（3）1111) |
| 山口グランドホテル | (754 | 山口県吉敷郡小郡町黄金町 | Tel. 08397（2）7777) |
| ニュー山口ホテル | (754 | 山口県吉敷郡小郡町黄金町 | Tel. 08397（2）3911) |
| ビジネスホテル小郡 | (754 | 山口県吉敷郡小郡町黄金町 | Tel. 08397（3）5588) |

**問合せ先** 電子情報通信学会中国支部事務局 土屋直広 または 埴本（たなもと） 修
Tel. 082 (226) 2140, FAX 082 (223) 5526

## 四国支部 支部大会講演募集—平成4年度電気関係学会四国支部連合大会

**期 日** 平成4年10月21日（水）
**会 場** NTT 松山研修センタ（松山市南江戸町 1283-1)
**講 演 者** 電気関係学会会員に限る．ただし連名者には会員外の方を含んでも差支えない．
**講演内容** 最近の行った研究，調査，設計，開発，工事報告，現地試験報告など．
**講演方法** 応募論文は1人1件に限る．1件のページ数は図面，写真を含め2ページ（1ページは約1,600字）以内とする．講演時間は質疑応答を含め10分とする．
**発表部門** 「基礎」，「放電物理」，「電力」，「通信」，「テレビ・画像処理」，「電子回路」，「計測」，「制御」，「電機」「材料」，「照明・電熱」，「情報処理基礎」，「情報処理応用」，「ME」，「計算機」，「その他」
（発表部門は実行委員会にて変更させていただくこともある．）
**使用言語** 論文言語および発表言語は，日本語または英語とする．
**講演申込料** 論文1件につき1,000円（別刷り30部を含む）（支払方法は原稿用紙送付時に連絡する）
論文集代：1,000円（希望者に販売）
**原稿用紙請求先** 790 松山市1番町 4-3 NTT 四国支社 設備企画部内
電気関係学会四国支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 0899 (36) 3003 森 英俊
**原稿用紙請求方法** 論文集はオフセット印刷するため，原稿用紙は実行委員会で準備したものを使用のこと．原稿用紙は論文件数を明記し，請求すれば「講演申込書」，「論文原稿作成上の注意」を添えて送付する．ただし，郵送料として1件：175円，2件：250円，3～5件：360円，6件以上670円の切手を同封のこと．
**原稿提出先** 770 徳島市常三島町 2-1 徳島大学工学部電気電子工学科内
電気関係学会四国支部連合大会論文編集委員会 Tel. 0886-23-2311（内 5514） 橋爪正樹
**原稿締切** 8月24日（月） この期日後に到着したものは受理しない．

## 九州支部　支部大会案内——平成4年度電気関係学会九州支部連合大会

**期　日**　平成4年10月8日（木），9日（金）

**会　場**　長崎大学工学部（長崎市文教町 1-14）

**特別講演**　8日（木）15：30〜17：00　長崎県農協会館（7階講演会場）（長崎市出島 1-20）

地球環境問題とエネルギ開発について　朝鍋　定生（三菱重工）

**懇親会**　8日（木）17：30〜長崎県農協会館（地下1階）

会費5,000円（同伴家族・学生3,000円）

**見学会**　7日（水）13：30〜17：00

見学先　三菱重工(株)長崎造船所，同長崎研究所

集合場所　13：00 長崎駅前

会　費　無　料

申込先　長崎大学工学部電気情報工学科事務室

Tel. 0958（47）1111（内 2662）

**備　考**

（1）論文集申込　論文集：1部3,000円　予約を原則としていますので，締切日〔8月24日(月)〕までに必ず代金を添えてお申込みください．なお，郵送希望者は1冊につき送料360円を添えてお申込みください．発送は大会終了後になります．

（2）懇親会希望者は9月21日（月）までに代金を添えてお申込みください．

（3）論文集および懇親会申込先

812 福岡市東区箱崎 6-10-1　九州大学工学部電気工学教室内

電気関係学会九州支部連合会　Tel. 092（641）1101（内 5300）

（振替口座番号　福岡 8-33001）加入者名　電気関係学会九州支部連合会

なお，振替口座ご利用の際には郵便局にて発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます．

（4）入構制限されていますので，車での来学はご遠慮ください．

（5）宿泊のご案内

宿泊月日：平成4年10月7日〜9日

宿泊料金：1泊朝食付き　税金・サービス料込みのご1名様の料金

| 種　別 | 記　号 | ホ　テ　ル　名 | S／シングル | T／ツイン |
|---|---|---|---|---|
| S | 1 | 長崎プリンスホテル | — | 16,000 |
| | 2 | 長崎東急ホテル | 16,000 | 15,000 |
| A | 3 | アネックスシテイホテル | 9,500 | 9,000 |
| | 4 | 長崎東映ホテル | 9,500 | 9,000 |
| | 5 | 長崎ワシントンホテル | 9,500 | 9,000 |
| B | 6 | ハーバーイン長崎 | 7,500 | 7,000 |
| | 7 | バスターミナルホテル | 7,500 | 7,000 |
| | 8 | ミナトパークホテル | 7,500 | 7,000 |

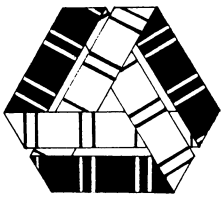
申込締切：8月31日（月）までに直接下記にお申込みください

850 長崎市尾上町 1-95

JTB 長崎支店「電気関係学会九州支部連合大会」係(担当：三品・児玉・今村)

Tel. 0958（24）2400　FAX 0958（25）0221

# 会議案内



各会議末のコードは，整理番号です（＊：本年既掲載分，＊＊：昨年既掲載分）．会議の詳細を知りたい方は，学会事務局へ切手72円を同封のうえ，請求ください．（国内連絡先が記載されている場合は除く．）

1. 開催日，2. 場所，3. 連絡，問合せ先，4. その他

## 国際会議

### 国際ワークショップ「ロボットと人間のコミュニケーション」 (**030)

1. 1992年9月1日（火）～3日（木）
2. 法政大学（東京都小金井市梶野町）
3. 共催：IEEE，他
   国内連絡先：法政大学工学部電気工学科　小林　尚登
   Tel. 0423 (87) 6187・6201，FAX 0423 (87) 6122，
   E-mail：hisato@csi. hosei. ac. jp

### WWDU '92-Work with Display Units (**048)

1. September 1-4, 1992
2. Berlin
3. WWDU '92 General Secretary ERGONOMIC Institut für Arbeits-und Sozialforschung Forschungsgesellschaft mbH Soldauer Platz 3 D-1000 Berlin 19

### Japan Display '92-The 12th Int'l. Display Research Conf. (**022)

1. October 12-14, 1992
2. Hiroshima, Japan
3. Japan Display '92 Secretariat c/o Japan Convention Services, Inc., Nippon Press Center Bldg., 2-2-1 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 100, Japan

### 国際シンポジウム「コンピュータワールド'92」 (046)

1. 1992年11月4日（水）～6日（金）
2. 神戸商工会議所会館（神戸市中央区港島中町）
3. (財)関西情報センター
   Tel. 06 (346) 2441，FAX 06 (346) 2443

### 国際 AI シンポジウム 92 名古屋　人工知能のニューパラダイム—メディアの中の AI (047)

1. 1992年11月16日（月）～19日（木）
2. 名古屋市中小企業振興会館（千種区吹上）
3. (社)中部産業連盟　Tel. 052 (931) 3181
4. 参加費：20,000円

### BMED '92—第4回 バイオ素子国際シンポジウム (048)

1. 1992年11月30日（月）～12月2日（水）
2. サンホテルフェニックス（宮崎市）
3. (財)新機能素子研究開発協会　バイオ素子研究開発課
   小林　敏昭
   Tel. 03 (3434) 3871，FAX 03 (3434) 7320

### ISSCC-1993 IEEE Int'l. Solid-State Circuits Conf. (049)

1. 1993年2月24日～26日
2. サンフランシスコ
3. ISSCC アジア委員会幹事　富士通研究所厚木研究所
   集積システム研究部　土屋　真平
   Tel. 0462 (50) 8843，FAX 0462 (50) 8842
4. 論文投稿締切：1992年9月22日（火）

### SSD '93—The 3rd Int'l. Symposium on Large Spatial Databases (050)

1. June 21-25, 1993
2. Singapore
3. 国内連絡先：東京大学理学部情報科学科　國井　利泰
   Tel. 03 (3812) 2111 (内 4116)，FAX 03 (3818) 4607
4. Papers proposals due: November 15, 1992

### ED-MEDIA 93—World Conf. on Educational Multimedia and Hypermedia (051)

1. June 23-26, 1993
2. Orlando, Florida, USA
3. 国内連絡先：820 飯塚市川津 680-4
   九州工業大学情報工学部　大槻説乎
   Tel. 0948 (29) 7618，FAX 0948 (29) 7601
   (call for participation は62円切手貼付の返信用封筒必要)
4. 論文締切：October 15, 1992

### MM '93—Int'l. Conf. on Multimedia Modeling (052)

1. September 7-10, 1993
2. Singapore
3. 国内連絡先：東京大学理学部情報科学科　國井　利泰
   Tel. 03 (3812) 2111 (内 4116)，FAX 03 (3818) 4607
4. Papers proposals due: April 2, 1993

## 国内会議

### 第4回 FRIEND 21 研究成果発表会—次世代ヒューマンインタフェース

1. 平成4年7月20日（月）
2. 虎ノ門パストラル（東京都港区）
3. (財)パーソナル情報環境協会
   Tel. 03 (3507) 0791，FAX 03 (3507) 0921
4. 参加費：10,000円

### 第48回 産業用ロボット利用技術講習会

1. 1992年7月23日（木）～24日（金）
2. 大阪府立婦人会館（中央区上町）
3. (社)日本産業用ロボット工業会
   Tel. 03 (3434) 2919，FAX 03 (3578) 1404
4. 参加料：会員25,000円（1日15,000円），
   一般26,000円（1日16,000円）

### セミナ「コンピュータ・ビジュアライゼーションの新しい展開を探る」

1. 1992年9月2日（水）～3日（木）
2. コミュニティプラザ大阪（福島区福島）
3. システム制御情報学会
   Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 参加費：会員35,000円，学生15,000円，非会員50,000円

### セミナ「ニューラル／ファジィ／GAの新しい展開を探る」

1.2. 〈東京〉 1992年9月10日（木）～11日（金）
   中央大学駿河台記念館（千代田区神田駿河台）
   〈大阪〉 1992年10月6日（火）～7日（水）
   なにわ会館（天王寺区石ケ辻町）
3. システム制御情報学会
   Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 参加費：会員35,000円，学生15,000円，非会員50,000円

### '92視覚と空間認知への総合的アプローチシンポジウム

1. 1992年10月1日（木）～2日（金）
2. マイドーム大阪（大阪市中央区本町橋）
3. (株)けいはんな リエゾンオフィサー室
   Tel. 075 (344) 1111, FAX 075 (344) 1116
4. 参加費：一般25,000円，大学・国公立15,000円，
   学生3,000円

### 第35回 自動制御連合講演会

1. 1992年10月28日（水）～30日（金）
2. 岡山カルチャーホテル（岡山市学南町）
3. システム制御情報学会
   Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 講演申込締切：1992年7月31日（金）

### ハイテクシンポジウム山口'92「メディアシンポジウム」

—感性を拡張する画像メディア—

1. 平成4年12月11日（金）
2. 山口グランドホテル（新幹線小郡駅前）
3. 山口大学工学部 ハイテクシンポジウム山口'92事務局
   (担当：安本)
   Tel. 0836 (31) 5100 (内208), FAX 0836 (34) 0624

### 第10回 光波センシング技術研究会

1. 1992年12月15日（火）～16日（水）
2. 三田出版会（大阪）
3. 光波センシング技術研究会事務局
   Tel. 03 (3433) 2543
4. 論文応募締切：1992年9月10日（木）

### 第4回「自律分散システム・シンポジウム」

1. 平成5年1月13日（水）～14日（木）
2. 東京ガーデンパレス（文京区湯島）
3. (社)計測自動制御学会
   Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
4. 講演申込締切：平成4年10月9日（金）

### PS JAPAN 93—'93スイッチング電源システム展／シンポジウム

1. 1993年2月23日（火）～26日（金）
2. サンシャインシティコンベンションセンター
   TOKYO（東京・池袋）
3. (社)日本能率協会 コンベンション振興本部内
   スイッチング電源システム展事務局
   Tel. 03 (3434) 1377

### ボード・コンピュータ '93

1. 1993年2月24日（水）～26日（金）
2. サンシャインシティコンベンションセンター
   TOKYO（東京・池袋）
3. (社)日本能率協会 コンベンション振興本部内
   ボード・コンピュータ展事務局
   Tel. 03 (3434) 1377
4. 入場料：一般1,000円，学生無料

---

## 教官募集

### ○大学等情報関係教官募集

**九州工業大学情報工学部知能情報工学科**

| | |
|---|---|
| 募集人員 | 教授1名 |
| 専門分野 | 応用知能工学講座（人工知能応用または計算機ソフトウェア応用） |
| 応募資格 | 博士号を有すること．大学院博士課程の教育ならびに研究指導ができること．教育研究に熱意を有すること． |
| 着任時期 | 平成4年10月1日 |
| 提出書類 | 履歴書，研究業績一覧表，主要論文別刷，本人についての所見を求め得る2名の氏名，所属，職名，および連絡先． |
| 応募締切 | 平成4年8月30日 |
| 送付先 | 820 飯塚市川津 680-4 |
| 問合せ先 | 九州工業大学情報工学部知能情報工学科主任<br>岡田直之<br>Tel. 0948 (29) 7617 FAX 0948 (29) 7601<br>email : okada@pluto.ai.kyutech.ac.jp |

**福岡工業大学電気工学科**

| | |
|---|---|
| 募集人員 | 教授1名および助教授1名 |
| 所属 | 電気工学科 |
| 専門分野 | 電気・電子に関連した分野 |
| 担当科目 | 機器制御工学または計測制御工学（電子回路，電気計測，制御工学，電気応用，計算機工学） |
| 応募資格 | 電気・電子・情報などの工学分野において業績があり，博士の学位を有する者．<br>教授は，60歳以上の者が望ましい．<br>助教授は，35歳以下の者が望ましい． |
| 着任時期 | 平成5年4月1日 |
| 提出書類 | 履歴書，研究業績リストおよび主要論文の別刷． |
| 応募締切 | 平成4年8月31日 |
| 送付先 | 福岡工業大学教務課長 石田隆男<br>811-02 福岡市東区和白東 3-30-1 |

Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
FAX 092 (606) 8923
問合せ先　福岡工業大学電気工学科
教室主任　鶴見一郎 (内 2424)
大学院（計画中）の研究指導も可能な者.

**明石工業高等専門学校**

募集人員　教授または助教授1名
所　属　専門共通科目
専門分野　情報処理
担当科目　情報処理
応募資格　博士の学位を有する者またはこれと同等の業績を有する者で，情報処理教育センターの管理・運営に従事できる者．35歳～55歳程度で教育経験を有する者が望ましい.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績一覧表，主要論文別刷（コピー可）.
応募締切　平成4年8月31日
送付先　674　明石市魚住町西岡
明石工業高等専門学校
学校長　佐藤　譲
問合せ先　教務主事　愛原惇士郎
Tel. 078 (947) 1151 (内 406)
「教官応募」と朱書し書留.

**青山学院大学理工学部経営工学科**

募集人員　助教授または専任講師1名
担当科目　事務システム（データベース，ネットワークなどを含む），計算機概論，計算機基礎演習など.
応募資格　経営工学関連分野の研究業績があり，博士の学位を持ち(取得見込みの場合を含む)，当学科における情報処理教育を担当できること．年齢37歳位までで，厚木，世田谷両キャンパスに通勤可能なこと．本学におけるキリスト教教育に理解があること.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト（学会誌等の論文，シンポジウム等の講演予稿，学会等の口頭発表の区別を行うこと），主要論文の別刷各1部，学位取得見込者の場合には学位論文の提出先，指導教授名，予定取得期日を明記すること.
応募締切　平成4年9月15日
送付先　157　世田谷区千歳台 6-16-1
青山学院大学理工学部教務課
問合せ先　理工学部経営工学科
学科主任　田部　勉
Tel. 03 (5384) 1111 (内 3508)
「経工教員応募」と朱書し書留.

**広島大学総合科学部数理情報科学コース**

募集人員　外国人教員（助教授または講師）1名
所属講座　情報行動基礎研究講座
専門分野　情報科学（コンピュータ・ネットワーク，コンピュータ・システム，言語理論，オペレーティングシステム，知識情報処理，ニューラルネット，システム理論等）.
担当科目　基礎科目としての情報学・数学，専門科目としての情報科学関連科目，ワークステーション等を使った演習や実験の指導.
応募資格　博士の学位を有する者.
日本語による講義のできる者.
採用予定　平成5年4月1日
任　期　3年
「国立または公立の大学における外国人教員の任用等に関する特別措置法」並びに「広島大学外国人教員の任期に関する規程」により，任期を3年とする.
提出書類　日本語による履歴書，業績表，著書および発表論文の別刷，各論文の内容あるいは研究経過の要約，教育歴のある者は講義題目等，今後の抱負と研究計画，推薦状または本人の業績について問合せのできる2名以上の連絡先，その他本人が有用と思う資料.
応募締切　平成4年9月30日
送付先　730　広島市中区東千田町1丁目1番89号
広島大学総合科学部長　戸田吉信
問合せ先　広島大学総合科学部数理情報科学コース
山縣敬一
Tel. 082 (241) 1221 (内 2140)
FAX 082 (244) 5170 (庶務係)
「情報科学（外国人教員）応募」と朱書し書留.
備考　任期が3年であることに留意．その後の再任の予定はありません.

**東京都立航空工業高等専門学校**

募集人員　講師2名
専門分野　電子工学科（情報・通信系，コンピュータ系）
応募資格　年齢30歳（平成5年4月1日現在）前後，学位（修士または博士），またはこれに匹敵する業績のあること．教育に熱意を持ち，かつ，研究にも情熱を持っていること.
担当科目　情報・通信系：情報処理・通信工学，電子工学実験など．コンピュータ系：コンピュータ工学，電子工学実験など.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究歴あるいは実務歴と今後の研究に関する希望（合わせて1,000字程度），業績一覧表，主要論文別刷，推薦書（本人をよく知っている方が書かれたもの）.
応募締切　平成4年9月30日
採用方法　校内において提出書類の審査を行う，書類審査合格者について面接を実施する，書類審査および面接の結果，適任者を本都教育委員会へ推薦する，教育委員会において業績・主要論文などの書類審査ならびに面接を実施し，合否を判定する.
送付先　116　荒川区南千住 8-53-1
問合せ先　東京都立航空工業高等専門学校
電子工学科主任　島田一雄
Tel. 03 (3801) 0145

**山梨大学工学部電子情報工学科**

募集人員　3名
A．教授または助教授1名
専門分野　情報数理と社会工学に関連する分野（社会科学・人文科学的分野を含め，広く実社会の情報に関する数理科学の応用を研究対象としていることが望ましい）.
担当科目　専門科目の他，下記の基礎科目の中から1ないし2科目を担当すること．線形代数，微分方程式，計算機入門，力学，統計，数値計算法.
B．教授または助教授2名
専門分野　数理情報および計算機科学関連分野
担当科目　下記の科目の中から3科目程度の講義および関連する実験・演習情報処理基礎教育科目，情報数学，統計，アルゴリズム，計算機アーキテクチャ，OS，プログラミング言語，データベース.
(以下A，B共通)
応募資格　博士の学位を有し，博士課程の学生を指導できる者．性別，国籍を問わない.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，研究計画書，推薦状（もしくは所見を求めることのできる方の連絡先）

応募締切　平成4年9月30日
送付先　400　甲府市武田 4-3-11
問合せ先　山梨大学工学部電子情報工学科教室主任
森　英雄
Tel. 0552 (52) 1111 (内 5272)
FAX 0552 (54) 3171
e-mail forest@kki.esi.yamanashi.ac.jp
「教官応募書類AまたはB」と朱書し，書留.

**山口大学工学部知能情報システム工学科**

募集人員　助教授1名
所属　工学部知能情報システム工学科計算機工学大講座，「ソフトウェア工学」教育研究分野担当
専門分野　プログラミング言語，オペレーティング・システム，ソフトウェア方法論，分散処理，コンピュータ・ネットワーク，知識工学，ヒューマン・コンピュータ・インタフェースなど.
応募資格　博士の学位を有し，研究業績のある者，年齢は35歳未満が望ましい.
着任時期　年度内の早い時期または平成5年4月1日
提出書類　履歴書，業績リスト，主要論文別刷（学位論文を含む），推薦書
応募締切　平成4年9月30日
送付先　755　宇部市常盤台 2557
問合せ先　山口大学工学部知能情報システム工学科
教授　田中　稔
Tel. 0836 (31) 5100 (内 367)
FAX 0836 (29) 0053

**広島大学総合科学部数理情報科学コース**

募集人員　助手1名
所属　情報行動基礎研究講座
専門分野　情報科学（コンピュータ・システム，情報処理，システム理論，電気・電子・情報工学等）.
担当科目　コンピュータ・プログラミングの演習補助.
計算機実験の補助
応募資格　博士の学位を有する者，または大学院博士課程（後期）に3年以上在籍し単位取得した者，または平成5年3月末までに大学院博士課程（後期）単位取得見込みの者，以上いずれかで満35歳位までの者，
着任時期　平成5年4月1日（4月1日以前のできるだけ早い時期採用可）.
提出書類　履歴書，業績表，著書，発表論文の別刷，各論文の内容あるいは研究経過の要約，今後の抱負，研究計画，推薦状と問合せ先2名など.
応募締切　平成4年11月30日必着
送付先　730　広島市中区東千田町 1-1-89
広島大学総合科学部長　戸田吉信
問合せ先　総合科学部数理情報科学コース
教授　水上孝一
Tel. 082 (241) 1221 (内 3629)
FAX 082 (244) 5170

**福岡工業大学管理工学科**

募集人員　教授または助教授1名
所属　管理工学科
担当科目　管理工学基礎または社会システム工学（統計学，経済統計論など）.
専門分野　確率統計，数理経済の分野（基礎から応用まで幅広く考えております）.
応募資格　専門分野に研究業績があり，博士の学位を有する者，または着任時までに取得確実な者．教育経験のある者が望ましい．教授は年齢55歳以上，助教授は年齢40歳以下の者.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文の別刷.
応募締切　平成4年11月30日
送付先　811-02　福岡市東区和白東 3-30-1
福岡工業大学教務課長　石田隆男
Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
問合せ先　同上　管理工学科
教室主任　鶴岡　久 (内 2336)
備考　大学院（修士課程・計画中）の研究指導が可能な者

**福岡工業大学工学部情報工学科**

募集人員　①教授1名，②教授または助教授1名
所属学科　情報工学科
担当科目　①情報通信システム，言語情報処理に関連した科目，②計算機工学，情報通信システム工学に関連した科目.
専門分野　①情報・通信関連分野，②情報・通信・電子工学関連分野
応募資格　専門分野のうち特に学科目に関連ある課題についての研究業績があり，博士の学位を有し，教育経験のある者.
①は55歳以上，②は55歳以上または35歳以下の者が望ましい.
着任時期　平成5年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リストおよび主要論文の別刷.
応募締切　平成4年10月31日
送付先　811-02　福岡市東区和白東 3-30-1
福岡工業大学教務課長　石田隆男
Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
FAX 092 (606) 8923
問合せ先　福岡工業大学情報工学科
教室主任　岩重二郎 (内 2465)
備考　大学院（計画中）の研究指導も可能な者.

**東海産業短期大学経営情報科通信教育部**

募集人員　教授または助教授各3名
担当科目　経営，情報処理に関する学科の通信教育指導で平均1週日程度出勤，他の日は自宅でレポート添削，採点を担当できる者（委細面談）.
採用予定　平成6年4月1日あるいはそれ以前の適当な時期.
応募資格　教授または助教授の資格に相当する教育あるいは研究業績等を有する年齢67歳位までの者.
提出書類　履歴書，研究または業績一覧表.
応募締切　随時（適任者決定次第締切ります）.
勤務先　岡崎市岡町原山 12-5　東海産業短期大学経営情報科
送付先　456　名古屋市熱田区神宮 4-7-21
問合せ先　学校法人電波学園人事部　松本，熊崎
Tel. 052 (681) 2299 (直)　FAX 052 (682) 3017

# 雑報

## ○C&C振興財団「国際会議論文発表者助成候補者募集」

海外で開催される国際会議で，半導体デバイス技術，情報処理技術，電気通信技術およびこれらの融合する技術分野に関する論文発表をする研究者に対して，往復の渡航費と滞在費を補助します．

助成金額　約10万円～32万円（なお，会議開催地により増減します．）

助成対象者　国内の大学または国立およびこれに準ずる研究所に在籍する研究者（原則として，40歳以下）を対象．

推薦の方法　財団所定の推薦書に従い，候補者の所属大学または機関の上司の推薦を得て，財団事務局まで直接提出してください．推薦書の入手をご希望の方は，財団事務局までお申出ください．

募集締切

| 区分 | 募集締切日 | 助成対象の国際会議の期間 |
|---|---|---|
| 平成4年度後期 | 平成4年8月28日 | 平成4年11月1日～5年5月末日 |
| 平成5年度前期 | 平成5年2月26日 | 平成5年5月1日～同年11月末日 |

問合せ先　108-01　港区芝 5-7-1
(財)C&C振興財団（担当　御宿（みしゅく））
Tel. 03 (3457) 7711　FAX 03 (3798) 6599

## ○平成4年度放送文化基金（技術開発部門）助成・援助募集

助成・援助の趣旨　現在の放送に関連する技術的な研究・開発，新しい放送メディア，放送システムに関する研究・開発およびそれを支える研究を助成し，放送技術の発展に寄与することを期待しています．

また，放送に関して海外の研究者との緊密な連携の上にたった共同研究が行われることも期待しています．

なお，国内放送事業者の行う本来業務は，原則として助成・援助の対象となりません．

助成・援助の申し込みは，次の三つの区分で受付けます．

①一般研究　②奨励研究　③特定研究

①，②の対象分野
1. 衛星放送，多重放送，有線放送，高画質映像放送，高音質音声放送，データ放送など放送メディアまたは放送システムに関する研究
2. 放送番組の撮像，記録，編集，保存等制作技術に関する研究
3. 放送における送信，伝送，受信，再生または表示の技術に関する研究
4. 周波数の有効利用に関する研究開発
5. 放送の受信環境および受信品質の改善に関する研究開発
6. 放送に関わりのある基礎技術（システム技術，デバイス技術，材料技術等の基礎）の萌芽的研究

③の対象分野
1. 放送取材等に応用できるロボット技術の研究
2. 放送に関する音声・パターン認識技術の研究
3. 画像・音声の高能率ディジタル信号処理と伝送技術の研究

助成・援助金額　①は1件400万円を限度とする
②は1件100万円を限度とする（当該専門領域の学識経験者の推薦が必要）
③は1年度，1件600万円を限度とする

申込期間　平成4年9月1日（火）～10月15日（木）必着

問合せ先　150 渋谷区宇田川町 41-1　共同ビル
(財)放送文化基金　Tel. 03 (3464) 3131

## ○1992年度「朝日賞」受賞候補者推薦

1992年中の業績を対象として標記の推薦を募集します．

募集締切　平成4年9月7日

問合せ先　104-11　中央区築地 5-3-2
朝日新聞社文化企画局　企画第二部「朝日賞」係
Tel. 03 (3545) 0131 (内 5477)

## ○日本証券奨学財団「平成4年度研究調査助成」募集

対象者　大学において学術文化の研究調査に従事している個人またはグループとし，その研究者の年齢は55歳以下とする．なお，グループは，大学間にまたがってよい．また，その代表者またはこれに準ずる者の年齢は55歳以下に限らない．

研究調査分野の範囲

（1）法律学，経済学および社会学については，高度情報化や取引の国際化にともなって生ずる諸問題など，現在の重要課題に関する研究を重視する．

（2）理学および工学については，新素材および環境改善に関する萌芽的研究を重視する．

応募締切　平成4年8月20日

問合せ先　103　中央区日本橋茅場町 1-5-8
東京証券会館3階　(財)日本証券奨学財団
Tel. 03 (3664) 7113

## ○第8回 日刊工業新聞技術・科学図書文化賞募集

対象図書　工業技術および自然科学に関する図書．ただし平成3年8月1日から平成4年7月31日までに国内で初版が刊行された日本人の著作．（外国語による図書，雑誌，研究資料は除く）

応募　所定の申込書に応募図書1冊を添えて申し込みください．応募される図書は何件でも受付けます．

応募締切　平成4年7月31日

発表　平成4年10月中旬，日刊工業新聞紙上で発表．

表彰　平成4年11月上旬，東京で，最優秀賞1点のほか，優秀賞数点について，著者，出版社を一括表彰します．最優秀著作には賞金30万円と表彰盾，優秀著作には賞金20万円と表彰盾を，また出版社には賞状とトロフィを贈呈します．

応募先　102　千代田区九段北 1-8-10

問合せ先　日刊工業新聞社編集局　図書文化賞係
Tel. 03 (3222) 7229・7072

## ○ブレインサイエンス振興財団各種研究助成候補者募集

ブレインサイエンス研究分野で，各種の候補者の推薦を募集しています．詳細は下記に問合せください．

1. 研究助成候補者
2. 塚原仲晃記念賞受賞候補者

3. 海外派遣研究助成候補者
4. 海外研究者招聘助成候補者

推薦締切　1および2は平成4年11月30日（月）
　　3および4は平成5年1月11日（月）

問合せ先　104　中央区八重洲 2-6-20
　　(財)ブレインサイエンス振興財団
　　Tel. 03 (3273) 2565

## ○郵政省通信総合研究所―選考採用研究職員募集

募集人員　以下の各分野それぞれ2名程度

研究分野　①地球および宇宙環境計測・予報分野
　　地球および宇宙環境の計測，機構解明，予報等に関する研究を行う．
　　②情報処理，知的通信，生体情報分野
　　知的通信技術，高度ヒューマンインタフェース，音声・画像理解，生体情報機構等に関する研究を行う．
　　③量子エレクトロニクス，物性・材料，光技術分野
　　超電導技術や先端光技術による超高速通信技術および光計測・光宇宙通信等の研究を行う．

応募資格　昭和32年4月2日以降に生まれたもの，採用の時点で博士の学位を有していること（外国人も可）．

待　遇　国家公務員試験Ⅰ種採用者と同等の待遇

採用時期　原則として，平成5年4月1日

応募締切　平成4年9月10日

提出書類　履歴書，研究経歴書，論文リストおよび主要論文の別刷．

問合せ先　郵政省通信総合研究所企画調査部企画課長
　　184　東京都小金井市貫井北町 4-2-1
　　Tel. 0423 (27) 7457

その他　不採用の場合でも応募書類は返却いたしません．

---

## 平成4年度役員

会　　長　萩原　宏
副 会 長　小林　亮　相磯　秀夫
先任理事　大野　侚郎　斎藤　信男　佐藤　繁
　　鶴保　征城　勅使河原可海
　　春名　公一　松下　温　村岡　洋一
後任理事　磯崎　澄　稲垣　康善　斉藤　忠夫
　　土居　範久　箱崎　勝也　八賀　明
　　林　弘　坂　和磨　松永　伍生
監　　事　山田　郁夫　竹下　亨
支 部 長　手塚慶一（関西），奈良　久（東北）
　　大槻説乎（九州），山田　博（東海）
　　伊達　惇（北海道），磯道義典（中国）
　　島田良作（四国），木村正行（北陸）

## 学会誌編集委員会

委 員 長　松下　温
副委員長　箱崎　勝也
委　　員　（基礎・理論分野）
　　西野　哲朗　長尾　確　相田　仁
　　相場　亮　井宮　淳　岩野　和生
　　上田　和紀　宇田川佳久　大石　進一
　　太田　和夫　大竹　和雄　大野　和彦
　　栗田多喜夫　榊原　康文　篠原　靖志
　　島津　明　築添　明　土田　賢省
　　手塚　集　東条　敏　沼尾　正行
　　平川　秀樹　宮本　定明　村上　昌己
　　横内　寛文　渡辺　俊典
　　（ソフトウェア分野）
　　川越　恭二　坂下　善彦　石川　博
　　岩崎　英哉　岩澤　京子　内平　直志
　　大澤　暁　岡田　康治　小野　諭
　　上林　憲行　北川　博之　小山田正史
　　関　俊文　瀧口　伸雄　瀧塚　孝志
　　田胡　和哉　谷口　秀夫　寺田　実
　　遠山　元道　深澤　良彰　本多　弘樹
　　松田　裕幸　真鍋　義文　宮崎　聡
　　吉田　和幸
　　（ハードウェア分野）
　　笠原　博徳　中田登志之　天野　英晴
　　飯島　純一　板野　肯三　伊藤　徳義
　　今井　明　小倉　敏彦　北沢　寛徳
　　北嶋　弘行　久門　耕一　黒川　恭一
　　小池　汎平　斎藤　光男　榊　博史
　　佐藤　政生　佐藤洋一郎　白男川幸郎
　　曽和　将容　瀧　和男　中村　宏
　　長井　光晴　西田　健次　速水　治夫
　　原田武之助　平田　圭二　藤田　昌宏
　　吉岡　善一　米田　友洋　和田　耕一
　　（アプリケーション分野）
　　宮崎　収兄　金子　俊一　稲岡　則子
　　上杉　利明　江原　暉将　大蒔　和仁
　　大山　敬三　岡田　謙一　勝岡　義博
　　澤井　秀文　杉本　重雄　杉山　健司
　　宝木　和夫　田中　哲男　田中　衛
　　辻　秀一　鶴岡　邦敏　富井　規雄
　　冨安信一郎　中野　潔　沼尾　雅之
　　馬場　健　広瀬　正　深海　悟
　　古屋　清　宮本　義昭　森田　啓義
　　横矢　直和　吉野　利明

## 文献ニュース小委員会

委 員 長　岩野　和生
副委員長　本多　弘樹
委　　員　浦本　直彦　大輪　勤　小川　知也
*地方在住委員　小野寺民也　甲斐　宗徳　小林　隆
　　鈴木　卓治　田中みどり　谷　聖一
　　堤　富士雄　坪井　俊明　鳥谷　憲司
　　中島　巳範　野尻　徹　野村　真吾
　　林　良彦　平澤　茂樹　広田源太郎
　　藤代　一成　堀川　隆　松本　一教
　　宮内　美樹　山口　義一　山下　義行
　　李　相喆　渡辺　美樹　*佐伯　慎一
　　*炭田　昌人　*垂水　浩幸　*竹澤　寿幸
　　*乃万　司　*藤井　茂樹　*村上　昌己
　　*横田　治夫　*渡部　卓雄

## 論文誌編集委員会

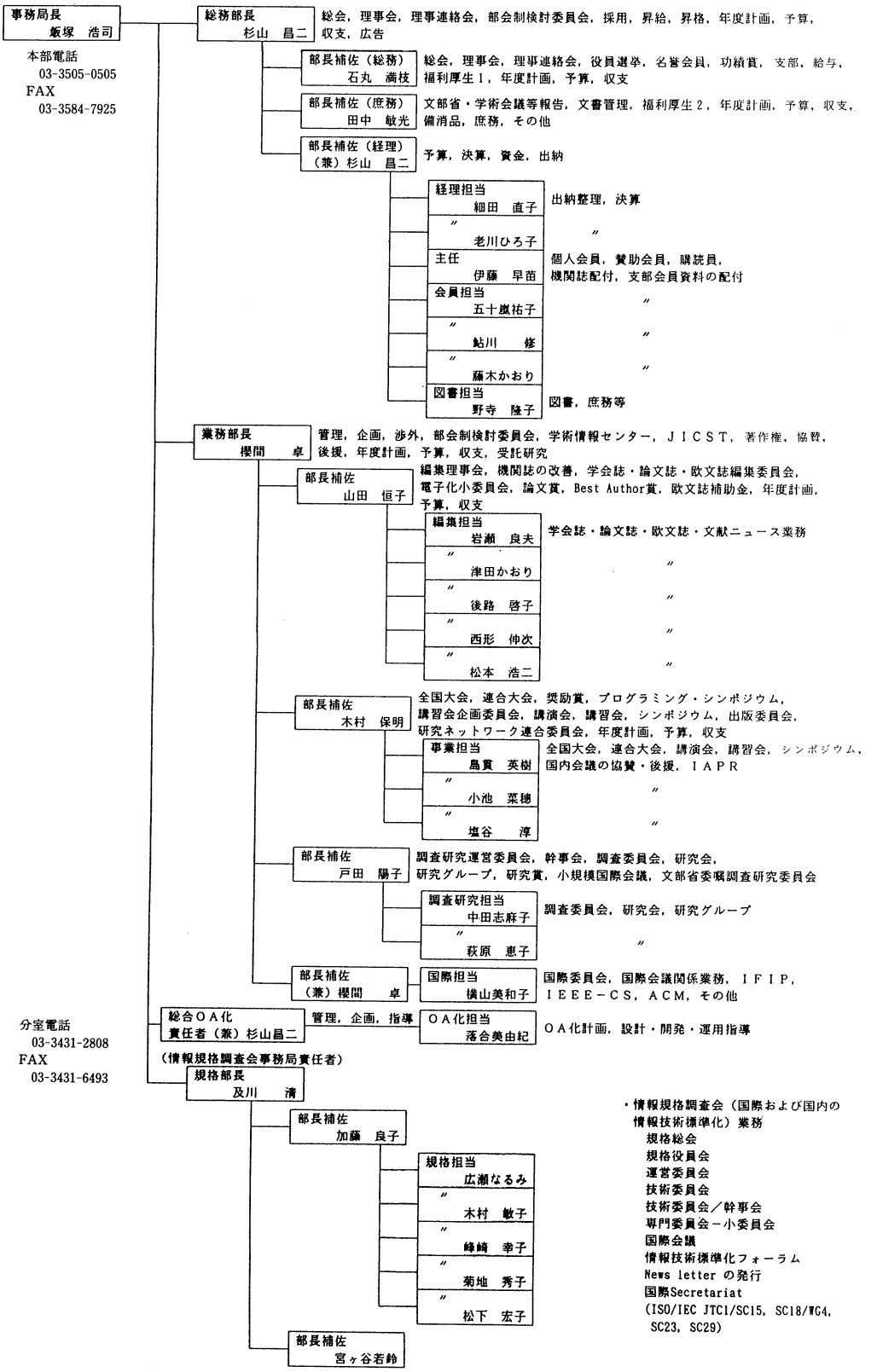
委 員 長　村岡　洋一
副委員長　土居　範久
委　　員　有川　節夫　石畑　清　伊藤　潔
　　岩間　一雄　魚田　勝臣　浮田　輝彦
　　大岩　元　大田　友一　勝野　裕文
　　菅　隆志　小池　誠彦　島崎　眞昭
　　白井　良明　白鳥　則郎　杉原　正顯
　　高橋　延匡　田中　譲　徳田　雄洋
　　富田　眞治　永田　守男　日髙　達
　　益田　隆司　三浦　孝夫　三井　斌友
　　毛利　友治　山下　正秀　吉原　郁夫

## 欧文誌編集委員会

委 員 長　佐藤　繁
副委員長　斉藤　忠夫
委　　員　浅野正一郎　伊藤　貴康　鵜飼　正二
*地方在住委員　奥乃　博　小柳　義夫　上村　務
☆アドバイザ・テクニカル・ライティング　喜連川　優　紀　一誠　黒須　正明
　　清水謙多郎　白井　英俊　近山　隆
　　築山　俊史　戸川　隼人　西関　隆夫
　　服部　彰　坂東　忠秋　伏見　信也
　　牧野　武則　松村　一夫　安村　通晃
　　山本　彰　米崎　直樹　*阿江　忠
　　*雨宮　真人　*池田　克夫　*稲垣　康善
　　*牛島　和夫　*翁長　健治　*上林　弥彦
　　*佐藤　雅彦　*都倉　信樹　*鳥居　宏次
　　*鳥脇純一郎　*宮本　衛市
　　☆M. J. マクドナルド　☆F. M. キッシュ

# 情報処理学会事務局組織図

平成4年6月1日




会告